京城日報

二十七日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分 六ヶ月分
廣告料 ▲五號活字十五字詰一行金八拾錢 ▲二號活字 ▲三號活字 ▲六號活字
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
電話番號

○日米主要協議事項 石井大使の齎せる

石井日本特派大使の齎せる米國政府との協議事項の主なるものは鐵の解禁問題及び船舶大洋運賃率統一問題にて本週より協議を開始す可し（華盛頓電報）

○露國戰爭繼續困難

露國は國歩艱難の際戰爭繼續の困難なるを聲明せりとの説あり（華盛頓電報）

○反革命派勢力旺盛

露國廢帝のトボルスク流謫は反革命派の勢力旺盛を示すものなりと傳ふる者あり（倫敦特電）

○廢帝の復位を主張

去る二十四日露國莫斯科に於て開催せる全露大會に於て反革命派は露廢帝の復位を主張し首相ケレンスキー氏は狼狽せりと傳へらる（倫敦電報）

○橋口少將通過 元朝鮮駐劄第十三旅團長陸軍少將橋口勇馬氏は二十六日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出港連絡船高麗丸にて内地に向へり（釜山特電）

○藤田書記官 馬政局書記官藤田嗣雄氏は二十六日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出港關釜連絡船高麗丸にて歸東の途に就けり（釜山特電）

○總督令孫通過 長谷川總督令孫東吉氏は二十六日午後七時著列車にて來釜同八時三十分關釜連絡船高麗丸に乘船歸東の途に就けり（釜山特電）

○金剛山探勝團 近畿實業家金剛山探勝團一行二十名は廿六日午後七時著列車にて來港同八時三十分出港關釜連絡船高麗丸にて歸途に就けり（釜山特電）

◉機關銃隊實施方法

歩兵機關銃隊設備は特別議會に於て三十七萬餘圓の豫算協贊を得目下夫々實施計畫中なるが右は歩兵各聯隊に約一箇中隊の機關銃隊を特設せんとするものにして之が兵員は聯隊中の各中隊より若干名宛選抜し專ら機關銃の效果を增進する教育を施す者にして本年度機關銃隊實施數十個中隊實施聯隊所在は陸軍省の機密に屬し報道の自由を有せざるも馬匹使用不便なる全國各聯隊中より十箇所を選び先ず之が設備を行ふものにして目下營舍新築其他に著手中なるが右工事を終り機關銃隊の編成期は今年十二月頃なりといふ尚右に向ふ十箇年繼續事業にして順次全國各歩兵聯隊に實施する計畫なるが明七年度實施分も十個中隊の編成と爲す計畫なる由なれば七年度豫算に計上せられたる該豫算は殆ど特別議會の其と相違する處なく兵舍及び厩舍の建築及び機關銃馬匹の買上費等の臨時費約三十二萬八千餘圓經常費約五萬餘圓なりと（東京特信）

◉油田調査官制

農商務省に油田調査に關する臨時職員設置の件二十四日勅令第十三號を以て公布され即日より施行されたり職員左の如し（東京特信）
技師專任三人（奏任）屬同一人（判任）技手同十四人（判任）

◉總督の答訪

長谷川總督は二十六日午前十時齋藤副官同車松川新司令官を龍山官邸に訪問し前日來訪の答禮を爲し正午前歸邸せり

◉豫算査定終了

朝鮮總督府大正七年度豫算案は豫て度支部に於て査定中の處此程全く終了し査定案は各部局に廻附せるが愈々確定の上大藏省に回送するは九月下旬なるべし

◉職員佩劍勵行

總督府及び所屬官署本官の佩劍は往々佩せざるものあり嚢に當局より其の佩劍勵行を示達したるが尚ほ佩劍せざるものあるやにて一兩日前再び勵行の内達を發したりと

◉米豆檢査規則

過般來審査調製中の大豆檢査規則及び米穀檢査規則改正案は已に總督府參事官室に於て大體の審議を終へ近く總督の決裁を經て發布を見る可し

◉兩捕鯨社許可

豫て出願中の東洋捕鯨株式會社並に日韓捕鯨合資會社は今回總督の認可ありたり東洋捕鯨會社は鯨族其他水產物の採捕製造及び販賣を目的とし資本金三百萬圓にて本店を大阪市に置き朝鮮の支店所在地は京畿道京城なり又日韓捕鯨合資會社は捕鯨其他の漁獵並に漁獲物の製造販賣を目的とし資本金十萬圓にて本店を門司に置き支店の所在地は同く京城なり

◉朝鮮基點の阪神航路 問題は運賃=實現期如何

朝鮮各要港と内地の大阪神戸を連絡すべき朝鮮對阪神航路の必要は今更ら絮説を要せず殊に昨冬より本年の早春に亘る朝鮮各地に於ける内地行

▲貨物の大停滯は一時則ちの大問題となり以來内鮮間航路の急設問題は一層熱度を昂め來る觀あり殊に日本郵船の如きは今夏來其の補助航路の廻航數を減じ發著港を整理せるあり現今に於ける内鮮間の連絡船腹は之れを前年に比するも減じ居れり加ふるに大阪商船其他社外船の朝鮮航路は運賃の引上げを續行し居れる狀態にて若し今日の儘朝鮮の出穀季に入らんか鐵道輸送力の不完分なると俟ち又復滯貨の聲は喧しからるべし唯玆に朝鮮を基點とする阪神航路を開かんとすれば

▲朝鮮郵船會社に於て之に當るの外途なきが朝鮮郵船は明治四十三年の創立當時大阪商船との間に朝郵にて阪神延長航路を開かざる事又商船は朝鮮沿岸のみの航路を營まざる事と云ふ相互の勢力圏を定め相犯さゞる事を口約せしものゝ如く今日朝郵が阪神航路を開始せんとするには商船との間に一交渉を必要とするやにて右に關し原田朝郵社長は目下東上中に付其の滯留中若くは歸路商船に談じ込み其の阪神航路延長承諾を得來るべしと説く者あり此の問題に對しては東洋的の大海運會社たる大阪商船は時勢の變轉せる今日素より朝郵の航路延長を承認するに吝かならざるべきも唯朝郵は其の就航船を得る事に頗る困難あり何分今日

▲暴騰せる船舶傭船料を仕拂ひては非常に高値の運賃を徴せざれば引合す夫々荷主との間の折合圓滑に行くか問題なるべく要するに朝鮮基點阪神航路の實現は尚ほ多少の曲折を經ざれば不可能と見るを至當とすべく假りに實現するも恐らく十一月より二月頃迄に至る朝鮮出穀旺盛期にのみならんと

◉朝鮮貴族襲爵

故男爵鄭漢朝氏相續人從五位鄭天謨氏は八月二十日附を以て襲爵仰付られたり

◉橋口旅團長入京

過般陸軍大更迭に際し鐵嶺駐屯旅團長に補せられたる橋口少將は廿六日入京す

◉司令官招宴

松川新任軍司令官は二十七日午後七時より龍山官邸に於て第一回新任披露の宴を張り長谷川總督各部長官立花師團長渡邊法院長古海警務總長芳賀院長釜屋高橋兩武官荻田局長久水課長等を招待したり

◉辭令（二十五日附）

總督府事務官 有賀光豐 度支部理財課長を命す
同 矢鍋永三郎 三級俸下賜度支部關税課長を命す
總督府稅關長 松井房治郎 六級俸下賜元山稅關在勤を命す
總督府事務官 内田陸 全羅北道第一部長を命す
同 木島茂 咸鏡南道第二部長を命す
赤峰哲夫 九級俸下賜咸南在勤を命す

◉釜屋武官出張

釜屋海軍少將は二十八日朝發下仁川灣調査の爲め光濟丸にて出張する由

◉高級參謀著任

新任駐劄軍高級參謀歩兵中佐山本鶴一氏は廿六日午前八時四十分家族同伴著任せり

◉新任將校著發

會寧工兵第十九大隊長富田工兵中佐羅南野砲兵第二十五聯隊大隊長增田、土屋兩少佐は赴任の途次二十六日入京軍司令官松川中將及第十九師團長立花中將に到著申告をなし二十七日朝元山に向つて出發せり同地より御用船に搭乘し各任地に赴く筈なり

◉山林課長出張

山林課長田中卯三氏は森林保護狀況及び保安林編入豫定區域に於ける林境並に水產物拂下處分に關する狀況視察の爲め江原道淮陽郡杆城郡に二十五日を以て出張をなせり

◉股野鮮銀司事出發

露都に出張を命せられし股野鮮銀司事は二十七日午後九時四十分南大門驛發列車にて北行し哈爾賓より阿部氏と同行三十一日發露都に向ふべし

◉趙子爵轉地

目下道洗庵にて病氣療養中の趙重應子は未だ快癒に至らざる爲め二十八日出發京城へ立寄らずして直ちに溫陽溫泉に赴き暫く同地にて療養を續くる筈なり

◉總督令孫歸東 長谷川總督の歸任と共に來京滯在中の東京帝大法科生長谷川東吉氏は二十六日朝發歸東せり

◉東拓社員異動

東洋拓殖會社にては十月一日附を以て東京本社詰め奉天大連支店勤務社員の新任命をなすと同時に京城支店並に各出張所員の間に大異動をなす事に決定し目下詮衡中なるが東京本社詰めは總べて人選終り二十五日其々内命を發したり而して其の人員は清水秘書役外約十名内外ならん又滿洲詰めは尚ほ詮衡中にて全部決定せざるも數名に對しては既に内命を發したるもの如く同時に新社員の採用も若干あるべし

□戰時利得税

戰爭の影響に因り過大の利益を獲るものに對し課税すべしとの議論は歐洲諸國に於て開戰後諸税の賦課せらるゝに伴ひ吾國にも行はるゝ議論なるが吾政府に於ては今日迄之を實施せざりしも去る特別議會に於て大藏大臣は之が調査を行ひ居る旨及び今多數議會には何等かの提案を爲すべき旨を言明したるが其の課税の方法及び課税率等は未だ確立し居らざるもの如し然れども當局者の言によりて推測すれば之より生ずる政府の收入は二千萬圓を下らざるも其額は左程大ならざるべく其の課税率も比較的高率ならざるものゝ如し。吾國が歐洲各交戰國に比し其の課税率を小ならしむるは吾國が交戰中なりと雖も其の地位は歐洲各交戰國と同一視すべからず又財政關係より觀るも多額の收入を獲る必要なしと云ふに在る如し、今參考の爲め歐米各交戰國に於ける納税義務者、課税標準、税率及び收入額を擧ぐれば左の如し

納税義務者

▲英國 英本國内にて商業又は事業を經營するもの及英本國内に居住し英本國内にて商業又は事業を經營するもの
▲佛國 政府若くは行政官廳の物品納入請負者媒介者及營業税を納むる個人會社にして通常利益を超過する利益を取得する者等
▲伊國 商工業者及仲立業者
▲露國 營業報告を公告すべき義務ある事業經營者及比例税を納むる軍需品供給業者及株式會社の取締役支配人助役等
▲米國 軍需品供給業者
▲獨逸 帝國臣民及獨逸帝國内に住居又は居所を有する外國人（以上個人）會社鑛山勞働組合商業組合登錄組合（以上法人）
▲墺太利 法人及個人

課税標準

▲英國 納税義務者の利益が戰前利益に比し二百磅を超過する金額
▲佛國 一九一四年八月一日前三箇年度に取得したる利益の平均額を超過する金額
▲伊國 戰時中取得せし利益額及標準利益
▲露國 資本金の百分の五八を越ゆ且平均利益を超過する額及二千留以上にして且平均利益に比し五百留以上超過する額及平均年給又は俸給が五百留以上を超過する額
▲米國 純收金
▲獨逸 開戰前に於ける財產に對する財產超過額（以上個人）開戰前に於ける利益に對する利益超過額（以上法人）
▲墺太利 一九一三年以前の平均所得を超過する金額

税率

▲英國 超過利益の八割
▲佛國 超過利益の六割
▲伊國 商工業者に對しては一割乃至三割仲立業者に對しては五分乃至三割
▲露國 二割乃至三割一分
▲米國 一割二分五厘
▲獨逸 一萬麻以下五分以上一萬麻を增す毎に五分、以上個人）一割乃至三割（以上法人）
▲墺太利 內國會社に對しては一割乃至三割五分外國會社に對しては二割乃至四割個人に對しては一千冠以下五分以上一千冠を增す毎に五分

收入額

▲英國 一九一六年實收額 一三九、〇〇〇、〇〇〇磅
▲佛國 一九一七年概算 八七五、三九四、〇〇〇圓
▲伊國 一九一六年度見込 二〇、八九八、〇〇〇圓
▲露國 一九一七年豫算 五六、七六〇、〇〇〇圓

右の表に依れば英國は其の戰時利益の八割を國家に徴收し年額十三億圓餘の實收額を擧げ居れるも伊國の如きは僅僅二千萬圓の收入を獲るに過ぎざるが吾國の地位は勿論英國に比すべくも非ず富力の程度に於ても亦著しき懸隔あれば其の戰時利益の大部分を徴收するが如き高率を課す能はざるのみならず假令同一率の課税を爲すも其の實收額は遙に之れより小額なるは論を俟たず、然れど之れを伊國に比するときは吾國の現狀は戰爭に原因する利益の額は伊國よりも大なりと見る可きを以て伊國と同一率を課すれば其の收入額は同國よりも多額なるを得可し之れを要するに吾國の課税率は前述の如く未だ決定を見ずと雖も恐らく平均一割内外を出でざる可く課税の標準は法人たると個人たるとを問はず所得税又は營業税と同一の課税標準に據るに至る可きか（東京特信）

◉京畿府尹郡守會議

京畿道管内府尹郡守及庶務主任會議は豫定の通り二十七日午前八時より京畿道廳構内宣化堂に於て第一日を開會し管内各地の狀況報告ありて正午過ぎ散會したり

◉穀物商大會

既報の通り朝鮮穀物貿易取引業者及び運漕業者の主なるものを以て組織し昨年三月仁川商業會議所に發會せし穀物貿易商大會は其第一回會合に於て協定せし通り來る九月十五十六兩日に亙り第二回會合を京城商業會議所に開催する事に確定したるが聞く所に依れば打合せ事項の如きは各地より會員の齎すべき各種問題を提ふべく尚昨年仁川商業會議所に於ける第一回會合の際宿題となれる過般總督府に於て規程せし米穀大豆檢査規定に基く穀物の包裝容量に關し打合せを爲す筈なるが其他穀物の輸移出運搬上の注意、運賃の協定、船腹の供給及び大會の規約事項等に關し協議する所あるべしと因に阪神、名古屋方面貿易業者回漕業者等も出席すべく會員約五十名の出席を見るに至るべし

◉若葉會例會

京城若葉會の八月例會は來る三十日午後六時より千代本に開催の由にて當日は會員の演説、其餘興等あり演説者は鮮銀司事阿部秀太郎氏（金融と戰爭）、天日常次郎氏（米に就て）、廣江澤次郎氏（矛盾生活一年有半）にて何れも有益且つ興味ある談話を試むべく會員及び有志の多數參會を望むと會費は例に依つて二圓なり

◉定州郵便局移轉 平北定州郡邑部面城内の定州郵便局は九月一日より全州郡邑部面城外洞に移轉す

◉大連より啓上

八月廿四日 通信員

▲中村都督來連 關東都督中村雄次郎男は二十四日旅順の官邸に於て前都督中村覺將軍並に當日遼陽第七師團より都督訪問の藤井師團長野澤第十三旅團長等を招待し午餐會を開きたるが二十五日は前都督出發東上の筈に付き都督は之を見送り旁々滿鐵の業務統裁の爲め大連に來り滿鐵重役と會見する筈なり因みに都督の管内巡視は愈々本月二十八日より始められ沿線各地に及びて約一箇月を要すべしと

▲龍居滿鐵理事 滿鐵理事龍居賴三氏は今二十四日午前八時大連著汽車にて朝鮮經由來連したるが記者に語る處によれば今回の北京行は吉長鐵道借款契約調印の爲めにして今や支那側より進んで其の借款締結を希望し來り大體の意見一致したるも細目のことは龍居氏北京到著の上決定調印せらるべく約一箇月を要する見込なりと同理事は今日旅順に至り中村都督を訪問し廿五日引返して同夜出發京奉線經由北京に行く筈

▲檜崎埠頭所長 滿鐵埠頭事務所長にして大連海務局長を兼ねたる檜崎務三郎氏は二十四日龍居理事と同車して内地より歸連したるが同所長は鐵道院の囑託を受けて約五十日間内地に出張し八千五百哩の汽車旅行をなし内地港灣視察をなしたるが大連港と内地港灣との比較に就ては最も面白き興味を感じ近日中其の所感に就て世間に發表する處あるべしと聞及べり

▲取引調停不成 大連重要物產取引所の大取引紛擾に就ては白仁前民政長官出發の際大に之を遺憾として賣買雙方へ注意と反省を與へ五泉事務官をして專ら其の調停に盡力せしめ五泉氏は日夜奔走の上一時は雙方の意見一致せりと迄傳へられたるが昨今に至り買方の寵將鈴木の西川及び鎮南浦の齋藤の兩氏は其の調停を謝絶する爲め内地へ旅行し買方の主力筋亦等しく現物引渡を主張して已まず到底其の調停の餘地なきより五泉氏は二十四日手を引きて旅順に歸府し此の解合調停は全然不調に歸したり

▲暴風雨五日 大連は去二十日以來今日迄五日間暴風雨の吹き通しにて實に近來に珍らしき天候の變調なり又滿洲奥地には隊蟲と稱する害蟲現はれ盛んに樹木を喰ひ荒し元來不良の作柄は益々悲觀せられ五分作しか取れまじとのこと也勿々。

□鎮南浦

▲兼二浦視察團 鎮南浦商業會議所にては同所評議員を中心とし輸入業者其他を一團とせる二十八名は廿五日雨を衝いて汽船に搭乘同地を視察したるが製鐵所に於ても大に便宜を附與したれば一行は十二分に目的を遂して同日夕刻歸南せり

▲學校組合會議 五年度歳入出決算認定の爲め廿七日午後八時より組合會開催の筈なるが新手を加へたる同會は例に依り活氣を呈すべく多分委員附託になるべきかと

▲棉花高し 出廻時期を差控へたる龍岡郡に於ては一斤廿五錢を唱へて取引約定結ばれつゝある由なるが事實此相場を以て生るゝとすれば昨年の生れ値入錢に比し三倍以上に當れる計算なるが

□清津

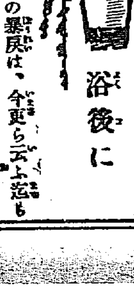
▲清會鐵道工事 清會鐵道工事は目下既に古豐山迄軌條を敷設せるを以て今日の豫定にては九月中に清津古豐山間の假營業を開始し得べく更に會寧迄の營業開始は一時其納期遲るべきを豫想されり軌條は工事上支障を生ぜざる程度にて納付を了るべき見込みなるも全通の奈何は雨期の問題にて幸に雨期が九月上旬迄に終らば豫定の如く本年内に完成して假營業を開始し得られんも萬一其の期を遲るゝあらんか本年内に開通は困難ならんと觀測さる

▲清津近海烏賊漁 清津近海の烏賊漁は兩三年前初めて其棲息を發見されて爾後漸く漁獲あり昨秋も相當漁獲ありしが本年は七月下旬頃より漁獲ありしが本月に入りては益々盛んにて七月廿六日より本月十五日迄の間に於て約二萬三千尾價約三百圓の水揚にて今後益々豐漁なるべく本年の漁獲高は七八萬尾に達せん模樣なり

▲本年の傳染病 北鮮地方には本年傳染病の流行なく發生するも一二名の赤痢患者又は腸窒扶斯患者に過ぎざりしが秋風立ち初むる此頃に至り其發生多きを見るに至り清津にては本月中旬より廿二日迄に八名の新患者あり又た羅南にては軍隊側に赤痢流行し目下十七八名の患者は衛戍病院に收容されあり民間側にも一二名の患者發生を見たり

人事消息

▲佐野善護氏（實業家）二十六日夜内地より歸京
▲園案太郎氏（同上）同日京釜線より歸京
▲白井水城氏（醫學士）二十六日入京
▲多田榮吉氏（新義州木材會社長）二十七日朝入京不知火旅館へ
▲早川新太郎氏（平壤第三十九旅團長）二十七日朝過京平壤へ



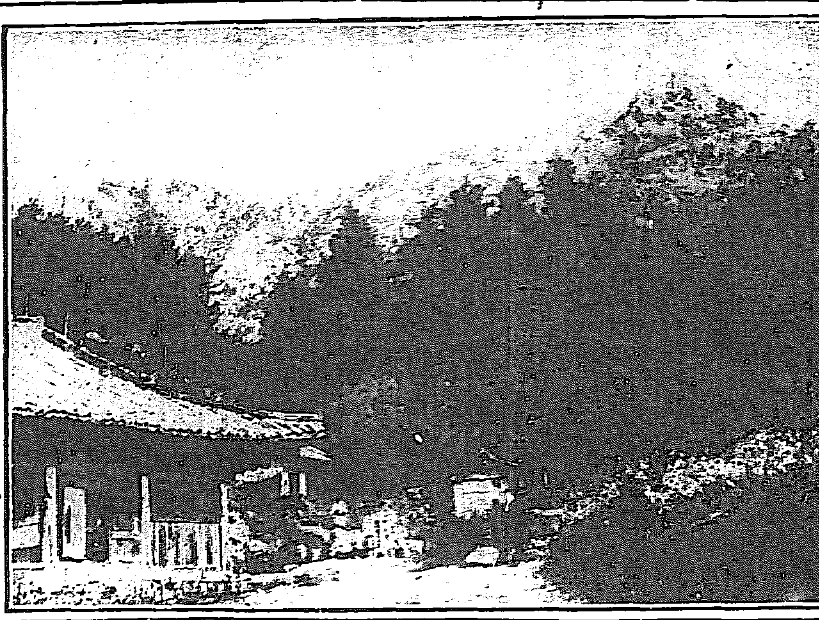
浴後に

○獨逸の暴戻は、今更ら云ふ迄もなき事ながら。ヴエルダンに於ける野戰病院爆擊の慘事は、實に言語道斷也。講和を愛好しながら、赤十字旗を冒瀆し、人鬼の本性を發揮す。聯軍の忠魂、伯林城頭に白旗を見ずんば、瞑する能はざるべし。

○英國にても、露國を眞似てか、勞兵會の集會を催せし者あり。目的が平和促進にある事とて、熱したる英國民の爲に、極力妨害を受けたるのみならず、各地より代表せし使節は、何れも袋叩に遇ひたり、此の一事に見るも、英國民の意氣、窺ふに足る。痛快也。

○支那南北の爭は、永久に解けざるべし。江南北枳、由來遠きものなり。吾輩眼中、南も無く、又北も無し。否、南も有り北も有り。然る偏南偏北は、我意に非ざる也。

金剛山の神溪寺



金剛山に禪宗の學校

▲神溪寺に曹洞宗の中學林が出來るといふ噂 將來は朝鮮僧侶最高の教育機關とする計畫▼

金剛山の神溪寺にこんど曹洞宗の中學林を設けるといふ噂がある神溪寺は温井里から九龍淵道の松青き谷間

▼◆岩間の流れ が水晶のやうな仙境である。學校は金剛山々中の大小數十箇寺の有志者によつて設けられることとなつたが、顧問としては元山曹洞宗法秀寺の住職仁生師がこれにあたることになり、且つ將來朝鮮僧侶最高の教育機關と為す計畫なりといふ、元來朝鮮の佛教は李朝時代の

▼◆極端な壓迫 をうけて衰微振はず從つて僧侶の如きも無學な人が多くなつた譯であるが併合後は再び佛教隆興の傾向あり近時は京城東小門內の佛教中央學林にて一般宗教界の子弟を教育するをはじめ各地の巨刹にては何れもみな

▼◆山內に學校 を有するの現狀となつた、されば彼の海印寺、梵魚寺、釋王寺等にては既に設置せる學校を新たに私立學校令により設立認可をうくべく出願中であるが何れも近く認可の筈、溯回新羅朝時代千二三百年のむかしになりし金剛山の寺刹に此の企てあるは

▼◆慶ぶべき事 である、次に仁生師は曾つて京城中央學校の前身にて教鞭をとりし人、英詩人ヨネ野口と共に米國に學びて歸朝以來雲水生活に入つたほどの變り者である

殘る暑さ

例年と一二度の相違に過ぎない

二十六日頃から暑さが元へ戻つた樣だから京城測候所に就て聽いて見ると、二十五日朝來天候の惡くなつたのは高氣壓の尖端が日本海南方に僅かに七百五十粍を示し之に對して

▲大陸方面に 氣壓が現はれ其の傾斜が滿洲朝鮮方面に緩漫であつたので滿洲から西朝鮮沿岸卽ち平安南北にかけて雨が降り大體に於て朝鮮半島は各地とも陰鬱な天候であつたそれが爲め太陽の熱を遮つてゐたので一般に涼しかつたが午前六時の温度の如き二十五日も亦た二十六日も例年と大した

▲變りは無く 二十七日の如き八十三度一で例年と一二度の相違に過ぎなかつた、さうして二十六日朝に至て高氣壓は北に擴がり、日本海方面の高氣壓は漸次朝鮮半島を壓迫せんとしつゝある狀態にあるので盛夏の如き氣候に復したのである、

因みに二十六日の雨は仁川十八粍、釜山十三粍、京城二粍であつたと

歌を高唱して進擊

露國女軍決死隊の負傷女兵語る

最近の戰爭で負傷した露國女子決死隊の女丈夫十餘名が露都の病院に後送されて來た、其中決死隊長ボチカレワ女副官スクルイドロフ女外三名は重傷である

出征した女子決死隊兵員は二百名であるが其中二十名は戰死し八名は敵に捕虜となり且つ多數の負傷者を生じたので目下健全で戰線に居殘つてゐる者は僅か五十名である、今後送された負傷女兵の一名は語つて曰ふ『吾々決死隊は既に數度獨軍を攻擊したが一番苦戰したのは最近スモルゴニ附近の戰鬪である、敵の近づくを見て眞つ先きに攻擊—と叫んだのは吾々決死隊だ

初め獨軍では女の聲が聞ゆたのでまごついたので機に乘じて敵に大打擊を加へた、獨兵の俘虜にも女兵隊が居た吾々は唯國家の爲めといふ一念があるばかりで、彼の膽病な裏切り者が國を危ふからしめてゐるのを見るに忍びないで決死隊を組織したのであるから生死は敢て恐るゝ所でない、吾々は面白い歌を高唱し笑つて敵を攻擊するのである、けれど

敵に接する際は流石に躊躇んで進むばかりはさすがにゾッと身震ひがする』云々負傷者の談に依ると鬚武者の兵隊は女兵隊が戰場に來たのを見て驚かされると同時に聊か負け惜みから侮蔑の態度があるといふことである、又某女は斯う語つた『吾々がゐた塹壕の傍に敵の銃聲が聞ゆ瞬く間にそれが烈しくなつた吾々は直に小銃と機關砲を猛射して之に應戰し數分間も經たない内に露の塹壕に居た敵兵の姿が一人も見れなくなつた時はびつくりした、敵は恐く逃げ失せて了つたのである』云々女子決死隊長ボチカレワ女史は百姓である

[illegible]に參加し、負傷すること前後實に六回、勳功に依りグオルギー章外數種の勳功章を授けられた、今回女子決死隊の編成されたのは女史の發企に依るものである、男子と女子とは生來職業が違ふものだといふ考へは露國では無論通用しない、露國には職業に男と女の區別がない、

又公民としての權利にしても男女平等で女でも男と同樣選擧權を有する、露國には汽車電車の從業員、郵便電信配達夫を始め女辯護士、女土木技師、女の大學教授女の官吏がゐて男子と競爭してゐる (哈爾賓)

狂人兩子爵家を騷がす

京畿道廣州郡西面魚龍里柳基大(三七)は京城子爵李完鎔氏の夫人の弟なるが豫て精神に異狀を來たし同家にて保護中二十五日午後脫け出して齊洞權子爵邸に亂入したるより窃盜犯人ならんと警察署に屆出で警官出張取調べしに狂人と判明し同人は李子爵家へ引渡せり

慘殺して七百餘圓を強奪す

安川金山事務所會計主任の遭難 射擊し背部に二個所命中し

京畿道驪州郡北內面注岩里玉女峰なる安川金山事務所會計主任秋田縣人相澤喜代治(三三)が八月二十四日驪州邑內より現金七百五十餘圓を携へ事務所に向け歸途に就き同郡北內面外龍里の峠道を通行中同日午後五時頃曲者現れ同人の背後より拳銃にて射擊し背部に二個所命中し頸部及び左手首を斬りつけ慘殺し携へゐたる前記の金員を悉く掠奪したり程經て右の慘狀を發見したるより驪州憲兵分隊にて犯人嚴探中なるが兇行の模樣其の他に依り犯人は朝鮮人強盜ならんと

二階墜落して八名重輕傷

福井縣武生大樂座にて開催中の衞生教育展覽會にて二十五日夜二階墜落せし爲め八名の重輕傷者ありたり (大阪特電)

奇しき運命

ヨットで浦鹽から來て神戸で自殺した露國人

本月三日木ッ葉の如きヨットに乘じて騎々と浦鹽から清津にやつて來た露國人波蘭生れのアウスト、ストランド(四五)の事は既報(當時の記事に姓名をストロートとせしは誤報)であるが同人は四日夜例のヨットで清津を出帆し城津に向ひ九日朝鷗のやうに城津港に入港上陸し此處でもウヰスキーなどを強か呷つて市中を見物して歩いたがヨット生活にも飽きたものかヨット其他の携帶品を三十五圓で日本人某に叩き賣り同日南航の平安丸で元山に向ひ其後の消息を知るに由なかつたが同人は去る十六日神戸露國領事館に於て領事の面前で遂に自殺を遂げた事が判明した (清津)

戰の樣な騷ぎ

益山郡十八面共同稗拔き作業 稗り拔つて總量四萬餘貫

全北益山郡では數日前から郡內十八面に職員を分派し各地共同時に稗の共同拔除作業に著手したので郡內二萬餘戶の農民は各方面別に團體を基準として團體を編制した郡職員一人の監督責任區域は二面とし面職員一人の監督責任區域は一乃至三洞里として之に所轄憲兵の應援を得て一團體每に農旗を押し立て其旗下に集る人員は二十名から六十名位で此團體が各々鐘を打ち太鼓を鳴らし氣勢を添ねて[illegible]青田の中を縱橫に活動する樣は宛ら野戰を開始した程の騷ぎである此共同作業に依りて拔き取つた稗葉の總量は約四萬貫と云ふ大量で各所轄面事務所に堆く積み上げて居るが不日郡當局の檢査を受けた後に相當の處分をする筈である猶今後は每年稗代に二回と移植後三回と都合五回之を實行することとなるが其成績は各面の比較審査を經て優良面には優勝農旗を授與する手筈だそうだ (裡里)

●同情金 ▲三圓也仁川茂木和三郎氏▲二圓同花房町豐田梅三郎氏▲累計金廿二圓五十錢物品六點也 (郵便局長林氏一家へ其後の同情金)

五十三年間の僧侶生活 (二)

▲辛酸を嘗めて修業 金石翁のものがたり▼

鮮人のものした『釋王寺夏籠り記』(八) 秦 曉星

『そして私は金剛山に入つて一生懸命に佛書を習つて居りましたが、ある時、金剛山の見物に來た御客から、或る田舍者の夫婦が、坊主になつて逃げて往つた自分の子が釋王寺にゐるといふ事を聽いてその子を探しに、釋王寺まで往つたところ自分の子は釋王寺からずつと前にまた何處へか往つて了つてゐないし、金は全く一文もなくなつて、乞食をして歩いてゐるのを、同鄉の人に救はれてその人の世話になつてゐるが、その男の方は病氣に罹つてもう死に掛つてゐるのを見たといふ話を聽いて、私はまた色々な事を詳しく聞いて見ると、それは全く自分の事なのでした、私はそれを聞いて驚いて、すぐ金剛山から降りて來て、釋王寺迄まで尋ねて來て見ると、全く其の御客の云つた通り、私の父は氣息奄々として他人のところでもう死に掛つてゐるし、母は着物もなく、まるで裸體同然になつて、人の世話になつてゐるのです。私はそれを見た時は實に熱い涙がボロ〳〵溢れました。それから私は毎日乞食をして二人を養ひましたけれども、甲斐もなく父は遂々死んで了ひました。』翁は息をついで「丁度そこへ、家を飛び出して永年流浪してゐた兄も何處からか父が病氣だといふ事を聞いて父の死ぬ少し前に戻つて來ましたので、私は兄と二人で父の死體を片付けましたけれども素より生活の的がないものですから、矢張り乞食をして暮して往かなければならなかつたのです。しかし私は、いつまでも乞食をしてゐては仕方がないと思つて、私一人でまた坊主になつて、再びこの釋王寺に參りました。そして熱心に佛書を研究して、やつと佛書の方も一人前になつた時、兄から母を連れて來て、幾年か養ひましたが母も何年經たないうちに亡くなつて了ひました。その亡くなつた親の事を思ふと、實に何とも云へぬ悲哀を感ずるのです。私は全く不孝者です。』と、俗世の煩惱から離れた老師も、倚ほ不幸な亡くなつた自分の親の事を思ひ出して涙を浮べる。

灯ともし頃

矢野通信課長、二十六日の日曜に令息を伴ない朱安にハゼ釣りに出かけた▲午前九時すぎから午後四時近くまでと云へば一寸七時間、可なり永い間、氏は恐ろしく辛抱力を發揮して萬事を忘れ糸を垂れてゐた▲結局イザ歸らうとなつて、魚籠を見ると總計二尾と云ふ始末▲令息の分が五尾合せて七尾、それに仁川からの應援があつての釣り上げ十八尾合計二十五尾を齎らし、汗を流し作ら歸つたさうな▲どうも朱安の魚はあるずれしてゐる、又四邊を見ると黑山のやうな釣り人で、魚より人の方が多いやうだ▲二尾しか釣れなかつたって笑つたものぢやない、近く仁川に下つて名譽恢復をすると力味んでゐた▲同じ日山縣鑛務課長鑛湖子も朱安に行つた、鑛湖子は釣りの玄人だし、又よい漁場を目つけてゐるとかで五六十のハゼを釣たさうな

讀者文藝 (一等に五十錢の 書籍券を呈す)

▽秋めき

◎茸(一等) 京城永樂町 風生

▲佳作 京城 吞天、山西 山天狼 [illegible]

▲次回題 上圖の通り

(左欄外) ●脫營兵の自首 [illegible] 地高坂栫子(二〇)は二十五日疑似赤痢 伏和町一丁目二十一番地千塚居四郎 [illegible] ●運輸 船上陸客 廿六日午前 [illegible] ●課題募集規定 ●募集規程 [illegible] 天氣 曇時々晴れ

商況

債券現物特電 (二十五日出來高)

東京市 京城折扣 朝鮮銀行 朝鮮瓦斯 南滿鐵道	一五一、〇〇

東京公債直取引 (二十五日出來値)

五分利特別	九六、七〇
四分利	八一、六〇

深川在米特電 (二十五日現在高)

朝鮮米	八、九九〇
臺灣米	五一、三二五
內地米	一二七、六八四五

東京期米特電 (二十五日前場)

	十月限
寄付	二一、四六
高値	二一、六〇
安値	二一、三九
止め	二一、四五

大阪株式 (二十五日後場)

銘柄	拂込	前日比	二十五日後場
宇治川水	五〇、〇〇		一三六、三〇
京阪電鐵	五〇、〇〇		一〇五、五〇
東洋紡績	五〇、〇〇		一〇八、五〇
同新株	[illegible]		[illegible]
大阪商船	[illegible]		[illegible]
日本郵船	[illegible]		[illegible]
東京株式	[illegible]		[illegible]
大阪新株	三、五〇		三三、一〇

大阪三品特電 (二十七日前場)

八月限	三三三、〇〇
九月限	—
十月限	—
十一月限	—
十二月限	三二五、九五

大阪期米特電 (二十七日前場)

當限寄付	二二、二八
中限寄付	二二、[illegible]
先限寄付	二二、六八 止

下關期米特電

	當限	中限	先限
二十七日前場	一九、七七	二〇、〇〇	二〇、四〇
寄付	一九、六六	二〇、五五	二〇、五五

雜報

●銀次第高 大連取引所に於ける銀鈔相場は昨報前値より一圓方引き締りて百四十七圓丁度と更に高値を示せるが倫敦相場は依然四十四片四分の三と保合也

●露貨漸落 二十七日鮮銀入電哈爾賓に於ける露貨實は二百七十三留に落ちたり

●三品相場更安値 日曜前日前場氣崩れ後場引返へしたと報じたるが今朝寄は米棉一圓七十錢又は四圓三十錢安にて確(當限三百二十三圓先限三百二十五圓)と更に新安値に陷り形勢益々非を算へつゝあり

●砂糖漸く落付 製糖は賣止めの値にて解除の通知ありし一時混沌を極めしが常市も大里製糖は噂さ通り前値より三十一圓七十錢を發表せり人氣漸く落付くに至れり新爾漸糖又何れは大里糖の標準を以て値段の發表を待つに至るべく市中値段は十三圓八九十錢の見當と定まりたるが會社側の態度甚

麥粉引締む

硬に上一時強 (一時堅)

[illegible]硬にして且つ九月一日より鐵路運賃二割高に次で十月一日より汽船運賃の引上げ行ありて今後の取引に對しては砂糖會社の負擔運賃の引上げさもなるべく旁旬一段高値あらんやも測り難し

向きし製粉も其後米價の不勢と諸物價の行詰り模樣に落付きて商狀稍々軟味の傾きありしが去る二十四日滿洲製粉工場燒失し同社製粉は之が爲め滿鮮及上海各地の供給に一時支障を來すならんとの觀念ありし爲 先 內地製粉は早くも之が影響によりて五錢方の引締めを報じ來れる旁當地も之に追随し同樣五錢高を唱ふるに至りしが今回燒失の滿洲工場も機械及び倉庫は共に無事とあれば今後の供給上には左して大なる影響はなかるべしとの觀測もあり當業者は目下手控へ氣味なり

綿布崩落ご市況 聊か氣迷ひの體なり

大阪三品相場は過般大崩れの後一旦四百五十圓內外に反撥せしを名殘りとして爾來並選動搖を續けつゝ土曜前場に至り三百三十圓台に崩落して更に安値に追込まれ[illegible]行きを示せるが當市場の成行も時節柄益々張りて同業者間に於ける恐慌の念日々に高まり市中には對岸に投げ物續出の模樣なるも唯一人買向く者なく[illegible]

貯炭二千七百噸

二十七、現在京城に於ける貯炭高を聞くに左の如し 山東炭五百二十噸 岩瀨炭六百噸 延浦炭三百噸 安州炭二百五十噸 撫順炭二百五十噸 高取炭二百噸 其他內地炭雜とも合計二千七百噸內外あり中旬に比して幾分の增加を示せり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 ㊈仲買店 電話長三六七・三六九 略號(サ)又(ヤマサ)

南清薹初輸入

長江筋の菜種子今回初めて試驗的に鮮內に輸入さるゝ筈にて百袋程不日到着の筈右買附けの頃は比較的割安にて沖渡百斤十一圓足らずなりし由

朝鮮薹試搾 鮮內

[illegible]地產の入荷を仰ぐ[illegible]今回初めて市中にて之が搾油を營まんとする計畫あり既に別項の如く南清產を輸入すると同時に市郊外に於て[illegible] 石二十一圓替

契約出來

小粒の所謂朝鮮種にて粒揃ひ宜敷が初めての爲め相場立たず當初は石四十圓杯と吹きかけしも結局買手は今日の內地相場に照合して稍割高なる右の値段にて引取りし趣にて或分に就いては未だ擬想し居れど兎にかく之より新販路設けられて農作物上新生面を拓き今後栽培增加するに到らむか

下關相場

▲朝鮮米(不狂) 白米五十叺の入荷に過ぎずして持米筋依然強氣がさると期米の立直りとにて市況強ひて堅りなく保合の儘當用口兩々賣行ありたり ▲大豆(暴騰) 昨今逼落杜絕したるのみか限先きとても歩々數入荷望み難き傾向あると共に大連物の騰貴のみにて市況[illegible]

仁川期米

▲二十七日前場 天候晴 兵庫前寄二十一圓六十八錢と一昨日より八錢高の入電にて當地當限[illegible]先十九圓 二十四錢と十錢高に寄付きたるも買物多く[illegible]十一錢と崩れ[illegible]

仁川海岸町三丁目 仁川米豆取引所仲買人 ㊉仲買店 電話長九〇五番 八三三番

生魚市場

タイサワラハモニベを初め可成りの入荷あり値頃なるが京城魚市場に於ける値段左の如し たい一一さわら一二しび二五車五〇あわび二五はも一五あじ一二すべき一四にべ一〇たこ二〇小だい二五

釜山穀物 (二十六日)

▲玄米(保合) 出廻り稀薄の折柄なる當市場賣り物の在庫品は相當に存在なるも買氣薄く大勢定期は日曜日なるを以て暗黑の立値なれども昨日發表六十錢高との入電ありし爲め買望人は依然精米口の買調きに過ぎず ▲大豆 新古物共小口物の賣り品現はれたれども夫れ〳〵の望口に應じ買進みたる爲め氣配は小勢きも保合なり 市場不活氣にて商戰更らに纏まらず保合の姿なり

水原大豆	二九叺	四〇叺
鳥山白米	五四叺	二〇〇叺
大安白米	二八叺	二三〇叺
南浦玄米	二五四叺	二九〇叺
平澤白米	三四叺	二八叺
京畿玄米	四三叺	六四叺
平澤白米	八〇叺	三九叺
平澤玄米	一四叺	三三叺
平澤玄米	一二叺	二〇六叺

南大門の廻穀

好價と期米の依然不勢なるに壓され[illegible]十錢乃至十五錢安の氣配にて朝來の見當は神力特十八圓六十錢在米上物十八圓四十五錢次品十七圓八十錢唱へなるが精米筋の概して買控めの爲め賣物も稍多きやの觀あり

京城正米

一入品透き直先高強入氣なりながら當用口より可成りに買入あり手持筋も成行き觀望しつゝあるに過ぎずして市況強まず保合

△汗浦大豆	十四圓九十錢
△金堤大豆	十四圓九十五錢
△京川大豆	十四圓二十錢

依然動かず

今や秋大天災 大阪期米は[illegible]り買向ひたるも十一錢と瓦落と四錢と返し二錢と戻合を告げたり市況は昨夜の雷雨にて無疑益上順なるも今朝の誤電にて一時强硬を示したるが跡銘ちずり〳〵と下押したる等依然保合繰り返し居るに過ぎなかつた持説も今日の雙調如何

▲跡暴騰の噂は誤電 期に入りし居るより目出度しの一變動を期待せられしが今朝大阪上寄跡暴騰の誤電にて一部の亂れ招致したると大阪の强硬に買氣を助長したるものありたるが[illegible]と投げ招致したると買物の中に[illegible]たが兎に角大阪の上寄に比し伸び惱みの感ありたるも足元堅き

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ㊂三巴仲買店 電話一二一、一二一、一四一 振替口座京城四〇三

伸びず押さず

靜厭 現下仁川市場に於ける十月限は弱勢の撥入殘甚にて大阪組と相合ひ入[illegible]の形勢より見れば投げず賣れず押目は更に買はんとすると同時に戻りは又賣らんとする[illegible]の場合にて[illegible]に附隨せざりし反動なるべく斯くして目先前小變動を繰り返す外なからんか

附隨す又安に靡く 大阪の高きに

[illegible]を受けては伸び惱みとなり大阪の低落を受けては下げ渋りとなり恰も大角力の四つに取組みたると同樣目先變動の形勢見ずして所る次第にて本月を終り新甫十一月限の發合を待つて是れ動機に變動を開始するには非ざるなきか問題が大なる丈夫分大動機の出現する迄小變動と見るの外なし

▲結局如何

現下の十月限大阪組に就き強弱の撥入頗よる深甚にて市場の大問題視せられ居るが十月限に於ける歷史は近く明治四十四年十月限に於て鮮人林某の買思惑ありたると是大正元年十月限に湊の大買思惑ありたるとにて共後十月限の大問題はなかりしが今年十月限に至つて又復大阪組さなり未ぜ仕手の顏觸れ等詳細ならざるも前年と事情を異にし居ると云ふ今年仁川取引所の取引狀態發展し居るの場合なるより前年の如き危險思想なきも兎に角市場に於ける大問題なるや無論である抑說是が結果して如何に就き今是を云ふするは大に早計にて恰も大天災期に際し居るの場合なる丈今後の天候如何に依つて大部分の解決を見る者と思はれる要は今後の天候如何と大阪の成行き如何にあり

▲㋑	同店の賣七千餘石買六千餘石
▲㋐	同店の賣六十餘石買三千餘石
▲㊀	同店の賣三千餘石買七千餘石
▲㊇	同店の賣四千餘石買三千餘石
▲一	同店の賣四千餘石買二千餘石
▲㊣	同店の賣三千餘石買三千餘石
▲㋔	同店の賣二千餘石買二十餘石
▲㊇	同店の賣二千餘石買二千餘石
▲㊐	同店の賣千餘石買千餘石
▲㊅	同店の賣二千餘石買二千餘石
▲㊅	同店の賣千餘石買千餘石
▲㊉	同店の賣千餘石

田 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 電話[illegible]

仁川米豆取引所 二十七日の十月限

前場	
寄付	十九圓二十四錢
止め	十九圓十六錢
高値	十九圓二十一錢
安値	十九圓二十錢
出來	三萬四千九百石

平均値段	
一節	十九圓二十三錢
二節	十九圓二十錢
三節	十九圓九錢
四節	十九圓四錢
五節	十九圓十二錢

賣買取組高		前日比較
八月限	一萬千五百石	
九月限	四千三百五十石	
十月限	十萬七千六百五十石	
二十五日後場		
一九、一〇四		二〇安
一九、一四		二〇高
一九、一二四		二〇安
一九、一三		一八高

…行衛不明となりたるより手配中なりしが二十六日自首し出でたり

●傳染病 京城御成町二十九番…は二十七日疑似猩紅熱と診斷さる

●遞川局長へ同情 仁川松林里茂木和三郎氏は今回の水災罹災者遞川局長同家族…

●日本の風光を慕ふて

一生をこの樂土の教育事業に捧げん 米國基督教傳道會社派遣傳道師 某女史の談

米國某女子は今を距る三十三年前米國より日本に渡來し基督教傳道の傍ら現時は中國の某女學校に教鞭を採れる女丈夫なるが此程北京に赴くの途次釜山通過の際舊知の記者に語りて曰く（釜山）

妾が日本に參りましてから本年で三十三年に成りますが參りました當時は日本語は一語も解し得ませず自然日本人を理解することは出來ないと致しましても

◆一般の風俗なり日常の動作に親しまして稍々批評は附け得られました聞きしに優る道德觀念の厚き點、基督教徒にあらねども宗教信念の深き點、技術工藝に巧みなる點業務に勤勉なる點其他に就きて歐洲人の誇りとせる總ての點を備へて居りますことを知りました以來は日本人に對する欽慕の念を深く致しました妾は此れより一生を此風光明媚なる樂土に終へたく人生の快事は之れに過ぐることなしとの希望を抱きますと共に亦た

◆此希望に對する報酬を致すべき義務を盡さねばならぬと感じまして妾しは學校より受くる報酬の中より節約したる生活費を除くの外は殆んど全部歐洲に於ける教育上の新刊書籍を購入し只だ〳〵時世に遅れざる教育を敬愛する生徒諸君に授く可く努力しました妾は他の宗教家の如く強いて基督教を生徒に鼓吹するが如きことは一切勸めません、日本は日本の宗教あり前世からの傳來の信仰に因りて家庭を爲せる習慣を教員たる自己の信せる宗教に變更せしめんとする様な

◆偏狹と云ふよりも寧ろ無謀な鼓吹を避け自然に從ひて宗教の觀念を起さしめ此れが理解に勉む可く善導するを根本とし而して各自の赴く所を誤らざらんことを示すべきに非らずんば唯無意識に信仰を促す如きは決して信仰の目的に叶ひたりとは云はれませぬ故に宗別の如きは最初より是非を論ずることを要せず神道を奉ずるも宜し佛教を信ずるも敢て恥なりとす非ず要は各自に信仰すべき一の宗教の下に信念を惹く可く努むることが日本現在の人心狀態にあらずやと考へて居ります

一般希望者の爲に ●絞染講習會

日本家庭染色會の絞染講習會は先般來愛國婦人會京城婦人會京城技藝學校等にて引續き開催し毎會々員數十名に達し會員は何れも其趣味と實益とを認めて會員中には二回三回と講習に加入し普通技術より高等技術まで修得せるもの少からず或は

◆數名聯合にて自宅教授を受け或は夜間講習を爲す等京城婦人界の大流行となり最近には遂に李王家女官其他朝鮮貴婦人數十名に實地講習を爲したり當初朝鮮の風俗として白赤絞等の單色の衣類を常用せるを以て嗜好に適せざるべしとの懸念にて專ら白及び赤絞等の

◆無地染めを實地に講習したるに却つて花模樣鹿の子絞等に趣味を惹き手巾數千枚を染め上げ意外の成績なりしと然るにこれ迄の講習會には外く愛國婦人會其他の會に關係ある婦人大部を占め一般希望者の出席に不便なるが如く誤解され此向きの希望者にて意を果し得ざる婦人少なからざる爲めそれ等の希望に添はしめんため

◆更に一般婦人講習會を廿八、廿九、卅日の三日間倭城臺京城婦人會を會場として開催し會費三圓にて何人にても隨意に入會を歡迎すべく希望者は本町二丁目青木露西亞物産商會又は本町佐伯旅館内岩谷縫子まで電話口頭端書何れにても申込まれたしと

◆「月の笑顔も恥しい」

行水趣味と湯屋の悲哀 湯錢を下げても客足のない夏枯の湯屋は苦しいと番臺の大萎し

青葉を渡る夕涼風に鬢のほつれを搔き上げ乍ら「月の笑顔が恥しい」なんて呟やきつゝ一日の疲れを癒す

♣行水は夏の情味を最も豊かに且つ洗練して表現する者で行水趣味を解し得る日本人こそ眞に幸福だとでも言ひたい程だが夫の日本人の行水ロマンスが漸潮すればする程悲哀を感ずる者は垢で飯食ふ風呂屋とは時節柄仲々にムサ苦しい

〔歐州戰爭以來石炭騰貴で湯錢を上げねば收支が償はず〕

其結果朝湯廢止とか五厘値上げとかで漸く落著いた地方もあつたが仁川では湯屋が人口の割合に多いのでグツト値上げも出來ずさりとて現狀維持も出來ないので湯札の賣止めで一時を凌いで來たが戰爭は止み相にも無ければ

♣石炭は下落し相にもない昨今では塊炭十四圓二十錢切込炭十三圓二十錢粉炭十二圓二十錢と言ふ開闢以來の高値を現出して未だ天井知らずと言ふ有樣に湯屋の頭痛は甚しく此れから先はどうしたもんかと思案に餘つて居る裡に

〔湯屋の書入季節の去り行水シーズンたる夏季去り〕

つたので頭痛鉢卷は益々重くなり此れぢやあどうも『アカン』と同業者が額を聚めて協議した結果湯錢を下げて客足を引く事とし六月一日から九月三十日迄の期間内は大人四錢を三錢に湯札十枚三十五錢を二十五錢に月湯七十五錢を六十錢に大値下げをしたが

♣行水趣味を解して居る世間では此の大奮發に同情もせず客足は依然夏枯れと言ふ有樣なので昨今來湯屋の番臺は大愚痴で『此れぢやお値下げをしてもしなくつても同じこつた』と言つて居るが廣告ビラの手前秋風颯々の九月末日迄は如何ともし難く

〔石炭暴騰の折柄泣面に蜂とは此の事ならんと言ふ有さま〕

へ今日此の頃の秋虫の鳴く音の如く哀れなるは同情の至りである因に石炭は多くは塊炭に粉炭を混て用ふるが夏は重に粉炭を用ひる其の一斷月の使用量は夏の盛りで大きい湯屋になると大底三噸から四噸を要すと（仁川）

◎劍呑な注文取

前科三犯の男大連へ高飛せんとする處を押へらる

仁川花町一丁目二十八番地旭日洗濯屋方雇人高平崇一（二三）藤川某（三）の二名は仁川に於ては思はしき收入も無きより大連に高飛びし一儲けせんと目論見たるも一文の旅費も所持せざりしより兩人共謀の上洗濯の注文を受け銘仙絣三枚高貴織其他數點を窃かに盜み出し此れを賣拂つて京城迄の旅費を調達し京城より大連迄の旅費は京城に居住の高平の姉某より借受けんとし高平は仁川某所に潜伏し藤川は富平驛まで歩行し此處より汽車に乘らんとする處を仁川警察署巡査の手に押へられ本署に引致取調の結果檢事局送りとなりたるが藤川は前科三犯の惡漢にて此外にも餘罪ある見込みなりと（仁川）

冬のお仕度 流行の洋服

冬の仕度は和服ばかりでなく洋服も寒くならない中に取掛らねばなりません原料の羅紗は英國品が良いのですが品が少いので昨年よりも高く然るに此不足を利用して穢な原料の見本を彼處此處持廻り澤山あるかの如く吹聽してサヤを取るデモ商人があるので一般の洋服店では困つて居ります流行の點から申しますと雜誌の寫眞版によるのですが如何に流行を重ずる西洋諸國でも大戰爭の爲に縞柄も形も著しい變化を見出させません物價騰貴の折から總ての物を經濟的に觀察する必要があると同樣洋服を拵へるにも相當の注意をした方が得策です汚れても目に著かないのは霜降りが一等ですが紺は老人でも若い人でも又多から春へかけて著て所謂合著の代用にも向きますが汚れは能く目に著きます裏返しをすると形が惡くなる上に著難いといふ人がありますが仕立直す時に賃錢を惜むからです職人の要求に從へば形の崩れるやうには縫ひません（某洋服商談）

渚の砂

■法學士行衛不明 佐賀縣佐賀郡川上村出身東京市麴町區駒込追分町居住法學士今泉佐八氏（三八）は電氣會社に勤務中病氣と稱して缺勤してゐたが八月十三日頃行衛不明となり目下搜索中

■未練男の狂態 神奈川縣横濱長者町田畑一雄（二四）は元根津で娼妓の時馴染んだ三重縣三重郡相田町生れの佐藤あさの（二四）の許に入り込み拐帶した主金六十圓を消費して揚句あさのに共に斷落すべく迫つたが同女が肯き入れなかつたので十九日あさのを殺すぞと短刀で脅迫し逮捕された

■稀代の大童 岡山縣新町橋本一男（七つ）は尋常科一年生だが體量十三貫九百六十匁身長四尺一寸五分末曾の體格だと推賞されてゐる

■藝妓六名負傷 福岡縣芳野銀行の森田支配人は博多南新地の涼み臺に藝妓十四人を招いて豪遊中其の納涼臺が崩壞して一同二階から墜落し鶴子外五人の藝者が血だらけになつた

■破戒の罰は覿面 東京府北多摩郡立川村僧侶中島舜翔（二七）は二十二日鎌倉に行き藝妓數名を揚げ裸體となり章魚踊りをなし居る内袈裟を初め黑衣一切と千圓記入の預金通帳とを何者にか窃取され赤くなつたり青くなつたり

■歐人末裔の果 歐羅巴人の末裔と自稱する三重縣河芸郡東拓植村の柿本捷次郎（二二）は二十二日相州藤澤町で行き倒れとなつて居るのを同地の警察署に行旅病者として救護された

▲うずら豆の煮方 うずら豆二合をよく洗ひ鍋に水をたつぷり入れて火にかけ煮立ちたらば鐵砂ばしの爲め水を注します新の豆ならば一度位古なれば二三回位水を替へて柔かになる迄煮ます柔かになつたら別に赤双目糖七十匁を七勺程の水に溶き其中へ前の柔かになつた豆を入れ蓋をして文火にかけて煮ます鍋りからぷつ〳〵と煮立つて來ましたらば一度かきまぜまた暫く煮込みます時々鍋を振り動かし焦げ付かぬ様に…汁がほとんどなくなりました時おろします

會費規定

◇會員は内鮮男女の制限なきも◇五歳以下のお子供はお斷り致します◇會費は（汽車電車賃共）金三十五錢◇お子供（滿十二以下）は廿錢を頂戴致升

往復汽車電車 廻遊觀月會

計畫餘興

◇九月一日（土曜日）秋初十五の夜◇觀月列車は午後八時南大門驛發車◇會場は城東淸凉里◇餘興は郊外活動と洋樂隊演奏

演藝案内

黃金館 電話二三六・三七六 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 △八月二十五日より寫眞全部差替 ○實寫『ミネルより』強し ●連續活劇『魔？人？』護る影 第九篇第十篇 …

大正館 櫻井町 電話八七三 ○米國キーストン會社特作品 ○日本國不思議の… ○滑稽活劇 喫込み ○滑稽活劇 珍飛行 ○滑稽活劇 雪療治 全二卷 全二卷 全一卷 ▲番外特別大寫眞 …

浪花館 明治町 電話二六〇 △大阪親友派浪花節 ○原晴夢、竹川馬生、京山若圓三合同 ○今回に限り平素の御愛顧御禮として入場料は破天荒…金五錢均一

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 東京小林商會關西一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 ▽寶石八月廿四日より寫眞全部差替 電話（階上）五九七番（階下）二〇五番 ○滑稽デブ君の得意 ▽活劇婦人探訪記者 全三卷 ▽活劇貴公子ワーリング 全五卷 …

壽座 京城 電話五七八番 女流浪界の花形前田八重子一行 ▲武士の意氣地 ▲新小說槍一筋 ▲太閤記續き ▲桐太鼓 ▲松の操 ▲三國一智者問答 ▲義士誠忠錄 …

二十歳前後より二十五六歳迄呉服商に多少の經驗ある人但し市内に保證人を要す 京城本町一丁目（電話四八三） **店員募集** ますや呉服店

模範牛乳 ニウソ 石鹼洗粉 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二番

新田式耐水調革 新田式ハラタ調帯 新田帯革 朝鮮總代理店 白神洋行 仁川本町四丁目 京城南大門外 白神洋行支店 定價表申込次第送呈

京城長谷川町七九（電話七三番） 内科 外科 小兒科 花柳病科 肛門病診療 安東病院 特に毎日午前中に限る

土藏お預り 全安管保 勸業債券 貯蓄債券 高價買入 明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通 **ちぢや** 南質店

●マラリアに一番 ヨクキククスリハ マラリア特効丸 龍山林藥房製劑の 價金十錢三十錢五十錢 ◎ニセモノアリ御注意 ▲郵税二錢 本舖 京城本町一丁目 龍山 林藥房 代理店 合資會社 山岸天祐堂 代理店 釜山辨天町二丁目 大黑南海堂

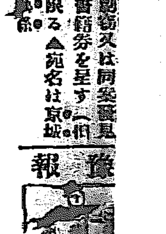
▲山縣五十雄 村上唯吉共著 **富の道しるべ** 價十五錢 郵税二錢 京城太平通京城日報社代理部 振替三〇〇番

梅毒の淋病 無料相談 ▽國名を記して秘密を嚴守す ▽病名を記し八ガキで申込め ▽詳細説明書は直に封送す ■初めて病毒に傳染し醫師に行くも耻かしく治療に當惑しつゝある人は安全なる内服化學劑で自宅で都合に病毒が潜伏し慢性となり時候の變り目等に色々の病が出る人、現在外へ頭固に吹き出し長く治らぬ人も現代最善の自療法たる化學劑で自宅で安全迅速に治る 東京市本所區向島小梅町 東京藥化學研究所

(一等一名)外人一名 二等六十三名 石井鉄也…

二十六日午後九時釜山入港對馬丸一二等客 一等なし 二等二十五名 保田德一、村上政爲…

表後一週間以内に…廣告者には五十錢書籍券を呈す…何書何號と明記に限る…



天氣豫報

御禮廣告

私儀鮮中は各位の深甚なる御同情に浴し御陰を以て望外の普及を終へ候段洵に欣幸に存候殊に上李王職を始め多數知名の諸名家御委囑の御商命を拜し候事は全く身に餘る光榮に有之是亦各位の熱烈なる御後援の賜と深く感謝仕候就ては愈明日より開催の一般講習會を打切と仕り大邱に相向ひ申候に付き前以て一々拜趨御禮可申述筈に候處出發に際し多忙を極め居候間乍略儀紙上を以て告別御挨拶旁御禮申上候

日本家庭染色普及會 講師 岩谷縫子

皮革

精米研磨革 綴革 動力帶革 靴原料 青象本底

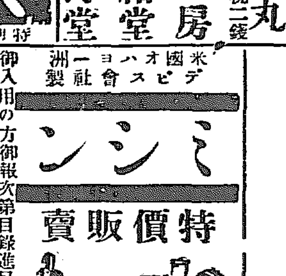
釜山大廳町一丁目 三星商會 電話長七八〇番

▼精米研磨革及青象本底は他に比なき最良品なり▲

◇耐火煉瓦 平壤合資會社京谷商店製造耐火煉瓦 右販賣代理引受候間多少に不拘御注文願上候 京城旭町一丁目（電話九五五番） 白上商店

米國シンガーミシン會社製 ヨーロッパ…

ミシン 特價販賣



東洋一手輸入 特約販賣 シンガーミシン及附屬品卸商 大日本東京神田富松町六 指田勘藏商店 （電話下谷一三九八番）（振替東京一五三三） 御入用の方御報次第目錄進呈 尚販賣望の方御相談に應ず

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他 油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番

京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二九七六番 電話二五三〇番 振替口座京城一〇〇四番

京城明治町二丁目（元京城病院下横通） **中央婦人病院** 電話二三四〇番 院長 衣笠茂

大日本優等清酒 ハツクル 品質純良 衛生無害

攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二二五番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

左甚五郎

第十席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

遠州屋喜兵衛は女中の取次を聞いて 喜『何にお客様は御逗留をなさるか、それでは大方待合せの人でもあるのだらう、早くまア御酒を持つて行つて上げるが宜い』といふので女中が酒肴の支度をして持つて參る、甚五郎は一日酒を飲んで酔ふとゴロり寝てしまふ、目が覺めると又酒を飲む、飲むと寝る、寝ると飲むのを首ッ引で外に何もしない、三日が五日と毎日〳〵飲んだり喰たり寝たり起たり

一ッことを遣つて居るが何うも擧動が怪しいぞそこは女のことで遠州屋の女房おたけが たけ『お前さん 喜『何だ たけ『あの奥のお客ね、二分のお茶代を遣る、飯錢を二分立替て置けなぞと云つて、まだお茶代もくれはしまい 喜『寄越されねと云つて催促も出來ないやな たけ『毎日お前さん飲んだり喰たり、一ッことをして居るのだが、惡くすると一文無しではないかね 喜『馬鹿なことを云へ、一文も無くつて何を持つて來い、彼を持つて來いと大安坐を掻て飲んだり喰たり出來るものか、彼の人はな見た處で貴様なぞには判らねが却々大掛な人だ、故意とあんな風をして居なさるが御大家の人だ、俺の腹を一番見やうと惱ういふので、僕な業をして居るのだ、懷中にあるか無いか其の位なことが判らなくつて宿屋で飯が喰へるものか、餘計なことを云ひなさんな』と內儀さんを叱つて喜兵衛さん澄して居ると十日經つても半月經つても立たないから、乃で喜兵衛も考へた、何とか云さうなものだが全然三文も錢といふものを出さない、是は一つ聞いて見やうと奥へ遣つて來て 喜『へエ旦那樣 甚『イヤ御亭主か、さア〳〵此方へ、何うも何んだ、毎日〳〵飲んだり喰たり誰か話し相手が欲しいと思ふが、何うも御主人も御多用の樣だから遠お招ぎ申しもしないが、俺一人といふ奴は洵に旨くないもので、何うだね一杯遣んなすつては 喜『有難う存じますが、何うも手前は不調法で時に旦那樣御催促を申す次第ではござい

旅籠代をチイ〳〵して御勘定を頂きたいなぞと平凡なことを云つて見ろ濱松の遠州屋といふ旅籠屋の亭主はあれだけの家臺骨を抱へて居るが、根性の汚ね奴だ、情けない野郎だと一番に腹を見られてしまふ、まア〳〵打捨つて置け たけ『デモお前さんお金があると思ふかね 喜『あるかねと云つて、細いのが無い生憎大きいのだから切替て遣ると云ふ先に斷はつてあるぢやアねエか、 永年旅籠屋稼

ませんが、手前方で少々買入れます物があつて拂ひをいたしませんければなりません、旦那様が手前方へお泊りになつて恰度昨日までゞ半月分の御勘定を頂きたいものでございます、此處へ受取を持て參りましたが烏渡御覽下さいまし、是れだけ頂きますれば殘は又た御出立の際で宜しうございます 甚『何だ 喜『御勘定を頂戴 甚『勘定、勘定は無い 喜『へエ 甚『金は無いよ 喜『冗談仰つて

は叶けません、細いのが無いから立替て置けと最初仰つたではございませんか 甚『細いにも大きいにも金なでは無い、ダカラお前の方で立替て置けと云つたのだ、最初に何と云つた、俺にお前が有難う存じます、有難う存じます、と云ふから其麼に禮を云ふには及ばないと云つたのがお前には判らないかね 喜『へエ成程然うでござつけ、それでは何んでげすかお前さんは一文無しで私共へお泊りなすつたので 甚『然うさ、一文無しで泊つた、何分何うもお前の家の待遇が宜い、氣に叶つたものだから遂長逗留をしてしまつた、錢は一文も無しだ 喜『一文無しだと云つてお前さん見たやうに然うぶら〳〵して能く居られたものでございますな、錢が無ければ無い樣に何とか其處の話しの爲かたもある、酒を持つて來イ肴を持つて來イ、あれは旨くない之は喰へないと散々好きなだたくを並べて今になつて勘定が無いとは呆れ返つた人だ、全體お前さんは何の稼業でございます』と尋ねました、

夏季休暇中の處九月一日より稽古開始仕候（京城明治町）
盛花家元　春道齋

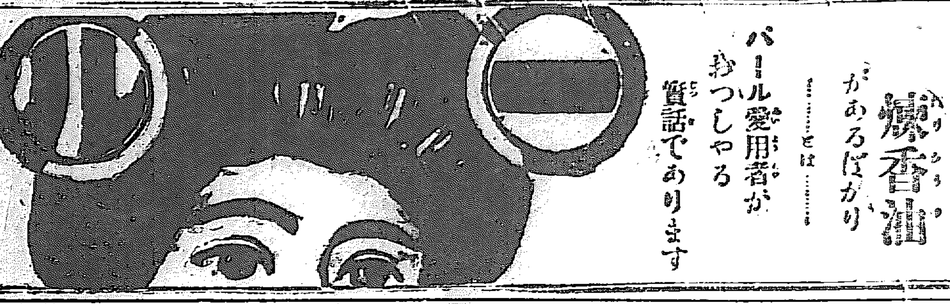
品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある
高麗人蔘エキスは
京城府明治町一丁目
小笠原大藥房
電話一九四八番振替京城三七五三番

八月廿九日九星
舊七月十二日癸卯
本命九紫南危赤口

▲九紫● 天狗の事有る日新事見合 西方は吉 創業▲一白● ふと乗せらるゝ事有る日 新事手控 然事は吉 貨物に用心せらるべし▲二黑● 夢遊の日轉居開業入學名弘求 賣出旅行 金融業等 萬吉▲三碧● 正數日轉居行商入門名弘金件建築轉請賣易業等萬吉▲四綠● 大個有日 轉居 行 商探讀求 婚金件家作緣組養子女を定る等 萬吉▲五黄● 公明盛大の日轉居入學金件 婚禮等萬吉頭に特許出願に妙也▲六白● いやな事多き日 新事手控 訴訟事は吉 衛生に注意の事▲七赤● 過怠の事有る日 新事手控 訴訟事は吉 女子は行儀を守らるべし▲八白● 遊惑何樂の日 男子は職に就き 女子は意外の幸福を得る大有望の日也

せきずい
病には効能正しき良藥あり困難の方は往復端書にて御照會あれ詳報す
播磨明石細工町　高砂屋商店

髮をしなやかに
丈長がく
美しく房々と
黒く漆のやうにするには、
「廣い世界に」
「タッタ一つ」
パール爆香油があるばかり
……とは
パール愛用者がおつしやる賀話であります



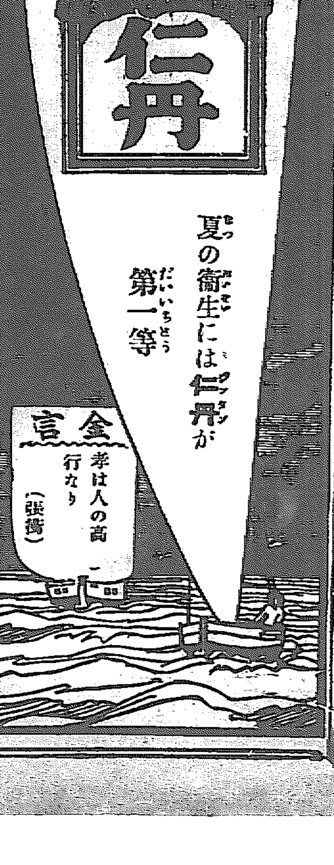
本舖　東京　平尾銑也商店
關西代理店　大阪　平尾贊平支店

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
電話二六〇八番
入院隨意　院長　酒井一郎

朝鮮總督府屬　朝鮮法律商業學校講師　西村眞太郎著
朝鮮語會話　第四版
定價金八拾錢　郵税四錢
受驗者必携の資料　袖珍總クロース四百餘頁頗美本
本書は第二版に於て動詞,形容詞の大增補を行ひ嘖々たる好評を博し偉大なる賣行を示したり、爾來三版は瞬く裏に賣盡したるを以て、茲に更に大々的增補を斷行し副詞の適譯百種及最近試驗問題解答等を載せて愈々第四版を發賣するに至れり是非速に一本を机上に備へて愛讀せられんことを希ふ
賣捌所　京城日報社代理部　大阪屋號、巖松堂、京日各支局
發行所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番

絶大の殺菌力を有する
効力五倍以上の
クラブ齒磨は
化學的に齒を強く美しくし口臭口熱を除き精神を爽快ならしむると他の如何なる齒磨よりも遙かに優れる天下一品の……クラブ齒磨
クラブ齒磨及び
クラブ白粉
クラブ洗粉
本店謹製品

人群のうちで
涼しく薫る香晶の芳香
定價　三個入金四十五錢　一個入金十五錢
各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり



夏の衛生には仁丹が第一等
金言　孝は人の高行なり（張儀）

京城日報
第三版
八月二十八日
(夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月金拾五錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

李朝代々の實錄 (三)

史官の直筆=五百年間の照魔鏡 重き鐵板の如き大册活字本

淺見倫太郎氏談

何處でも同じ鎖國時代に在りては自國の内情は力めて之を秘密に付し他國の内情は力めて之を得んとしたるもので朝鮮なども制度、文物、地理歷史みな秘密にしたものであつて六典や野史の海外流出を防いだ形蹟がある。併し吾々は朝鮮に三國史記や高麗史とか東文選、國朝寶鑑などのあることは疾くに知つて居つた。彼の新井白石などは朝鮮の經國大典を引用して議論して居るし輿地勝覽の如きは五山の僧侶などが詩文に引用して居るから知てゐるのである。反つて今の朝鮮には三百年前の出板と認むべき古書古記錄は散佚して其跡を止めずと言ふてもよい位であるが日本内地に於ては中々よく知られて居たやうである。唯だ〳〵此の文庫の李朝實錄及び日記類のみは見られぬから近年内地の人も能く見に來る位である。

私が此の浩瀚な記錄を覽て感じたとは——結論をチョット先きに出す次第であるが——朝鮮には古來中流階級といふものがないやうである。先づ上は國王と役人とがあり下は無智蒙昧な農民ばかりのやうである。これは洵に朝鮮としては氣の毒なことであつて、彼の羅馬の如きも貴族と奴隷の二階級となつて國に中流階級なるものが絶れた爲めに滅亡したものであつたが、何うしても一國の興隆には中流階級といふものがなくてはならぬのである。彼の日本に於ける明治維新の際もさうであつたが、何うしても貧乏ながら多少の實力と智力を有つて居るといふ中流階級がなくてはならぬ。朝鮮は全くこれを缺いで居た爲め恰も日本の王朝時代の制度と同じやうなことの行はれたのである。

李朝といふものは日本で云へば北條時代から德川時代に亙る五百年間の時代に相當するのであるが、朝鮮には源平二氏の如き武門武士がなくて藤橘二氏の如きものが上流で新羅以來の文弱階級と下流の農民階級のみであるから時代は若いけれども恰も我が王朝時代の社會を今に存する次第である。即ち少數の功臣族と多數の無資無智の農民との二階級のみで極めて薄弱なる社會組織であつたのである。其の李朝の文弱的大事業ともいふべきは實錄並に日記位のものである。

一概に李朝の『實錄』といふも實錄には何々大王實錄と一々に標題ありて太祖より哲宗迄二十五代(内魯山、燕山、光海の三代は日記と題す)である。次に眞正の日記たる『承政院日記』は仁祖の即位から日韓併合の前年迄二百八十八年間のとが記されてある其以前の分は既に散佚して存在せず。次に『日省錄』は英祖の中頃(己卯)から併合迄百五十年間の日記で、此の日記は國王も自由に覽る事を得る樣に作つたものである。余は光武五年奉敎纂修とあるものを抽て見たがその中には大臣の任命とか、臣下からの上書とか、其の他重大な國政の處分などを記してあつて、記錄官が毎日其の前日の出來事を記錄したものを淨書したものである。次には『綸綍』といふのは英祖の五十二年から光武五年まで百五十六年間の口達諭令の樣なものを錄したものである、次には『内閣日曆』『典客司日記』『公車文』『公車文叢』などいふものも年月日を追うてある。公車文とは大臣その他民間儒生の上疏文を淨錄したもので、何れも二三百冊の浩瀚なものである。以上七種の記錄を合計するのみにても一萬冊以上にのぼり其の何れを見ても當時の制度文物並に國家の重大なる處分を明白にすることを得るものである。その正確なる日附を有することは到底野史に見ることの能きぬ所である。

さて右の中から先づ文庫中の最も主要なる李朝實錄から述べて見る。實錄は其の製造された時代から看察して見ると二種類になる。その一つは江華島傳來の實錄で他の分は文祿役後に複製したものである。前者は今日では唯一の原本で後者は三部とも活字の複製本である。複製の由來は文祿の役に從來存在せる實錄並に日記の大部分が兵燹に罹つて唯江華島本のみが全州の史庫に殘つたので將來を慮り之を原本として第十二代の仁宗實錄までを複製したのである。其の後の分は二者の冊數同一である。今その原本の方は通計千二百冊許より成り複製した實錄の方は通計八百餘冊となつて居る。原本は初めの時代は寫本であり中頃からはその時代々々の活字により印刷せられてある。活字鑄造の沿革を見るにも有力なる資料となるものである。實錄の冊子の大きさは太白山傳史の實錄は横一尺二三寸、縱二尺餘の大冊なるが江華島史庫のものは更にそれよりも縱が長くて曲尺三尺以上ある。また活字本一冊の紙數は大約百枚で二巻に分つてある。紙質は後世になる程厚地になつて居るが紙其のものも朝鮮名産といふてよい。また實錄の文體は全部漢文であるから急速度を以て通覽するに便利である、字數は十五行三十字又は二十四字詰となつて居る。元來此の實錄は[illegible]國王崩御の後一代の事蹟を編纂したものであるから名稱はみな王の諡名を用ゐて居る。其諡號は後代になるに隨て長くなり『何々大王實錄』と一行三十字位になつて居るのがある。而して國王の一代で二百冊位のものも二冊位のものもある、これは在位の長短に因るのである。

次に此の實錄なるものが一代の王に何卷位ゐづゝ製られたものなるかを調べて見ると大凡次の通りになる。先づ李朝第一代の太祖の實錄は十五卷あり、第二代の定宗の實錄は六巻である。次に第三代の太宗の實錄が三十六巻で第四代の世宗實錄となると百六十三巻となる。尤も此の世宗王の實錄の終の卌六巻が禮儀(八巻)樂譜(十二巻)地理志(八巻)政策(二巻)の巻であつて全體に於て頗る大部のものである。その中地理志といふのは彼の後世幾たびか増訂した輿地勝覽の前身ともいふべきもので勝覽から詩文を除いたやうなものであるが勝覽に載せないことをも見れる。また政策といふのは内外二編に分れてあるが、これは曆のことを記したものである。即ち當時朝鮮に用ゐられた曆は元の至元十八年辛巳の年を起算點とした授時曆で是を内篇とし、回々曆を外篇に記して居る。さて第五代目の文宗實錄は十三卷、第六代目の端宗大王のが十四卷となつて居るが此の王は叔父世祖に禪位を餘儀なくせしめられたるもので内容には魯山君日記とのみ記されてある。第七代の世祖實錄は全部四十九卷であるが内二卷は樂譜である。第八代目は睿宗實錄は八卷で、第九代の成宗實錄は二百九十七卷の大部である。尤も此の時代から實錄の體裁はよく整頓して來て居るが、第十代目のは燕山君日記として六十三卷になつて居る。これは前にもいふたが淫虐の爲め廢王となつたのであつたから何々大王實錄の名がない譯である。次ぎに第十一代は中宗實錄であるがこれは全部百五卷を遺して居る。また第十二代の仁宗實錄は僅かに二卷。第十三代の明宗實錄は卌四卷となつて居る。此の明宗實錄の巻末には春秋官何某編纂の文字の次ぎに左の如き文句を記して居つて實錄其ものゝ攷證に重要なる文字である、本文は左の如くである。

『萬曆壬辰之變、春秋館及星州忠州分藏先朝實錄、盡爲兵火焚、獨全州所藏獲全、移安于海州、又移安于寧邊、又移安于江華、上命春秋館、依此本印書三件、舊件則藏于江華摩尼山、新件則分藏於春秋館及安東之大白山、寧邊之妙香山、草本一件則藏于江陵五臺山、舊件凡五百七十六卷、新件各二百五十卷、粧結有大小故也、是役起癸卯七月、終於丙午四月。』

と右の如く記してある。即ち丙午は宣祖の卅九年、西暦一六〇六年で第十七世紀の初めである。これによつて見ると、前に申した通り李朝五百年間の此實錄の前半部は一時に印刷した再板本と初板本との二種ある譯であつて初板本は稀世の珍本として特別取扱になつて居る。

(正誤)前回に光海日記も其儘印刷せられたる如くあるは誤りにて、此の日記のみは有名なる朱墨本にて朱墨縱横の草本其儘のものなり後に特別に之を言はん。

■北陵にて

奉天城邊漠々たる平野の唯中に、太宗文皇帝の陵がある。漫々として鳴る赤松の森、點々として立つ石人、駝、石獅の類、莊重華麗な陵門にて美しきものである。が自分には此オアシスに這入つた時よりも際涯なき空と地平線とを眺むる途上の光景を愛する。(在奉天) 鶴田樸村

誰 (60)

布施生譯

其の清楚な裝束が夫人の細そりした姿とよく釣合つて誰でも振回つてみる位、之れが今歳四十八になる人柄とはどう見ても見えなかつた。しかしそれにも増して奇麗なのは栞孃であつた、孃は西班牙の宮女に假裝した。天性の麗質に仕立屋が特別に腕を揮つた衣服がよく似合つて之が今夜の壓卷と見られた。

舞踏は今や酣であつた、二組に分れた音樂隊は廣内を音樂の海に化した。往交ふ人影振撒す袖袂閃めき合ふ寶石、人は人に醉ひ香は香に醉ふ、唯もう榮華の極歡樂の雨である、こんな華やかな中で誰があの薄汚い東西屋の事など思出さう、彼は戸口の片隅に隱れて廣間の有樣を透見してゐた、其眼は稠人の中を分けて栞孃の姿に注いだ、孃は此時ベニスの貴族に扮した藏部利介と舞踏の相手になつて手を組みながら踊つてゐた。藏部は嬉しさうに孃の手を携へて一擧一動も孃に媚びてゐる、東西屋の爺は之を見て『思つた通りだ、彼奴は孃樣に思召があるんだな、しかし彼奴は兎も角もとして孃樣が何だい、格別嫌な風もしないで彼樣奴の對手になつてゐる、わゝあんな處を鈴富が見たらばなあ。』

此時其面前に居た之も伊太利古代の貴族に扮した年輩の紳士が、冗談とも眞面目ともつかぬ聲で東西屋に向ひ『壽醴さん、約束はお忘れぢやありますまいな』東西屋は恭しく頭を下げて『大丈夫忘れる所ぢやございません』『しかし無鐵砲な事をしちや困りますよ』『大丈夫、それも判然と心得て居ります』二口三口の會話ではあつたが此應酬の間に壽醴老人は栞孃と藏部との姿を見失つた、入變り立變り人波は紆曲を打つてざわ〳〵と動いてゐる、其中に呑まれた人影を搜出すのは容易ぢやない、しかし老人は騷がなかつた、靜に眼を移して保部夫人の在所を求めた、夫人は何處か片隅に人を避けて坐つてゐるに相違はない、そして栞孃は乾度傍に引添ふてゐると見込をつけたからであつた。

日報詩壇

○竹莊煎茶　藤倉蘋齋
遮斷紅塵碧玉叢。烟枝露葉動簾櫳。平生未識眞茶味。閑對此君塵慮空。
許日清潦出塵

○喜雨　大陸　鳩仙
旱天六月幾柴扉。倚坐雲閒與俗違。法雨洗心山淨。無寒暑處亦禪機。
許日洒落落、筆端有舌

○梅雨友人至　兒島九皐
鎭日梅雨鎖門閑。偶有叩門吟友來。一酌一酬談笑裏。簷前雨雨費敲推。
評曰無聊之裏迎友何等快事

市況

▲保合伸悩む

▲取組更増大

寄付 十九圓十七錢　止メ 十九圓十一錢　高値 十九圓二十　安値 十九圓十五錢　出來高 二萬三千二百石

▲土木局出張所移轉　土木局釜山出張所は[illegible]鐵道局所管地内に決し廿五日より同出張所家屋の建築に着手せしが竣工期日は十月末日なりと(釜山)

■創立五年■基礎強固■模範的講義■
工業講習録
新學期開始■會員大募集
今入會者には大特典あり、先づ見本を請求せよ
電氣工學 一ヶ年卒業
機械講義 一ヶ年卒業
建築講義 一ヶ年卒業
應用化學 一ヶ年半卒業
■今は工業の世の中！ 獨學にて成功せんとせば本會に入れ
東京小石川表町一〇九 大日本工業學會 振替東京六一八〇 電話小石川一〇四〇

急告
今般原料暴騰致居候に付不止得三割値上實行仕り候間何卒御承知相成不相變御用命の程伏して奉願候也
大正六年八月
朝鮮硝子製造同業組合
京城古市町 畑兄弟硝子製造部
同 林町 小野硝子製造所
仁川 ㊂硝子製造所
京城義州通 西大門硝子製造所
平壤 西鮮硝子製造所

立身出世の近道は是れ
露語講義錄 六ヶ月卒業
露語研究は目下の急務也 此機を不逸速に入會せよ
會員募集
▲内容見本及規則書進呈要郵券二錢
東京市日本橋區大傳馬町十八番地 日露語學會

天覽台覽
縮刷 時務一家言
蘇峰 德富猪一郎著 (定價一圓六十錢 郵税六錢)
『時務一家言』は著者が思想經綸の大經大綱を提げ、所謂る其の輪廓を描きたる者にして、内治、外交、社會、經濟、軍事、教育等有らゆる方面の問題に關著し、從來の各種述作、一として此に胚胎せざるは莫く、之を喩へば、本書は宛も法學書の通論の如く、『世界の變局』や『大正政局史論』や『大正の青年と帝國の前途』や、皆其の各論と見るべし。乃ち本書は他の三書と脉絡貫通し、其關係の緊密なる事、常山の蛇の如し。其首を擊てば尾至り、其尾を擊てば首至り、其中を擊てば首尾倶に至る。則ち是れ主義主張の一貫也。本書刊行以來版を重ぬる十有二。
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一二三〇〇番
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
大取次大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

商業登記公告
内國通運株式會社ハ大正六年八月拾八日朝鮮ニ於ケル代表者ヲ左ノ如ク變更シタリ
京城府旭町貳丁目五拾參番地 村瀨鎌治郎
右大正六年八月貳拾貳日登記
商號「蒼生堂」ノ使用者李興國ハ大正六年八月貳拾四日商號ヲ營業ト共ニ京城府西小門町八拾六番地李庚鳳ニ讓渡シ同人ハ之ヲ取得シタリ
東亞煙草株式會社ハ大正六年八月拾日各新株ニ付金拾圓宛拂込ヲ結了シ各新株ノ拂込金額ヲ金六拾五圓ト變更シタリ
右大正六年八月貳拾四日登記
内國通運株式會社取締役永井惟直ノ住所ヲ東京府荏原郡大森町壹千百九拾五番地ト更正ス
右大正六年八月貳拾五日登記
京城地方法院

競爭入札 購買 朝鮮總督府遞信局
一、木材 七拾壹點
詳細八月廿七日ノ本府官報ニ在リ

陣營具購買 朝鮮駐劄軍經理部
詳細八月二十七日二十八日二十九日ノ朝鮮官報ニアリ

來る九月三日午後三時左記土地建家共競賣致候間御希望者はカウアノー商店に於て御入札被下度候
一、所在地 京城太平町貳丁目(一番) 鮮ホテル近隣(東亞煙草會社北隣)
一、同坪數 貳百貳拾六坪(長谷川町交叉點)
一、建家 右坪數全部建家
一、建築に要したる費用 金四萬貳千五百圓(大正二年建築に係る煉瓦造)
一、家賃收入豫定 年額貳千七百圓
尙詳細は當店に付御問合せ被下度候
京城太平町貳丁目 カウアノー商店

京日案内
◎商品販賣員募集 希望者は自筆の履歴書携帶來談あれ 長谷川町五八 世昌公司 485
◎店員募集 十六七歳より廿四五歳迄のもの但保證人を要す 仁川 白神洋行 479
中古ピアノ出物あり 貸オルガンも有ります 京城本町 ウツボヤ樂器店 電三五七 435
臨時雇採用 年齢三十歳迄希望者は本人來談あれ 身體強健軍人出身者の 京城日之出町 志岐組 480/482
◎看護婦採用 履歴書携帶本人來院の事 京城旭町一丁目 内科小兒科 小林醫院
◎業務擴張の爲長谷川町五十八番地(大倉組跡)に移轉す 世昌公司 484
◎鑛物定量分析 明治町二ノ七六(電話二七七番) 本町一丁目江戸川横入 田部分析所 477
恩給 年五分迄 年金 五年分迄 保險 無利子 即時現金立替 京城南大門外(御成町) 山口屋 電話二六八八番
女事務員入用 外交内勤兼務月給十五圓以上希望者は履歴書携帶本人來談あれ 京城黄金町二丁目 京城新聞社 474

石井大使大統領訪問
御親書捧呈　大晩餐會開かれん

石井大使は二十三日非公式に米國大統領を訪問せり大使はウヰルソン大統領の鄭重なる歡迎を受け　天皇陛下の御親書を捧呈し且つ曰く日本國民全部は米國の參戰を歡迎せり而して日本は戰爭のため出來得る限りの援助を與ふべしと述べたりウヰルソン氏は之に答へて、予は米國民が最も重大視せる貴使節を歡迎すと云へり次で大使は國務卿ランシング氏を菅野陸軍少將は陸軍省を竹下海軍中將は海軍省を各訪問せし後ち大統領及び國務卿は答禮の爲め大使を訪問せり二十三日夜大統領の歡迎大晩餐會開かるべし（華盛頓電報）

日本の出兵を要求せん

華盛頓に在る聯合國の各代表者は目下の露國に於ける危機に關し協議を重ねつゝあり聯合國は日本に對し露國への出兵を要求せんとの意ある如し（桑港電報）

米國戰費約五億萬磅

八月中に於ける米國の戰費は一日四百八十萬磅平均にして其の中三分の二は聯合國への立替金なり開戰以來の戰費は四億七千七百萬磅に上るべし（華盛頓電報）

米國船舶建造計畫

更に十億弗の支出を要求したる米國當船局の豫算に據れば米國の船舶建造計畫は總數一千二百七十隻、總噸數七百九十萬七千噸建造の豫定也と（華盛頓電報）

英佛軍攻勢と大捷
西部全線に於ける猛烈なる交戰

佛軍はレオンピユ及びサモグニユ附近に於て大捷を得たるのみならず獨軍の逆襲を總て擊退せり而して其最も猛烈なる逆襲はカンソレー森林附近の陣地に對して行はれたるも敵は一時の陣地をも奪還するを得ざりき四百三十三哩に亙る西部戰線はフランダースに於ける英佛軍の攻擊に始りヴエルダンに於ける佛軍の大突擊によりて殆んど連續せる戰線となりランに於ける英軍の攻勢、サンカンタン、シエミンデダム、モロンビラース・ヴエルダンに於ける佛軍の攻勢はアルサス、ロレーンより瑞西國境に到る猛烈なる砲戰と相俟ちて戰爭開始以來西部戰線に於ける最大なる戰闘となりたり（巴里電報）

佛軍三〇四高地を占領

佛軍は勇敢にアボクール森林及びシニンキウ岬を突擊して最も難關たる三〇四高地を占領し猶ほボアカンマールを陷れフオルジユ河の南岸に到達せり此の河流は平均二基米突餘の深さに及べり（倫敦電報）

伊軍重要陣地占領

伊太利公報＝伊軍と墺軍との戰闘は今猶繼續せられ我軍は新に敵の重要陣地を占領し敵は猛烈なる數回の逆襲を試みたるも悉く擊退せられたり我軍は捕虜二萬砲六十門を鹵獲せり（紐育電報）

獨機野戰病院攻擊

佛國總司令部附ロイテル通信員の所報に曰く、獨逸飛行機の爲め英佛野戰病院は頻繁に且つ故意に攻擊されつゝあり獨軍は最も執拗に病院攻擊を開始し看護婦看護卒の死傷者續出しつゝあり獨軍窮迫の結果發狂的の行動を敢てするものと認めらる（倫敦電報）

獨逸和蘭を威嚇す

獨逸は和蘭に對し今日より引續き戰後五ケ年に亙り獨逸の爲めに使用せらるゝ船舶を建造するに非ざれば船舶用の鐵材を供給せずと威嚇し猶ほ和蘭行石炭の輸出を減少しつゝあり（桑港電報）

莫斯科國民大會不穩

莫斯科國民大會にては豫想せられざる事件續發しつゝあり即ち立憲民主黨は現政府の無能を一々攻擊し又哥薩克兵同盟は若し政府が軍總司令官コルニロフ元帥を罷職せしめんか直ちに叛逆を企つべしと政府を威嚇しつゝあり（倫敦電報）

軍艦命名發表

に特別議會を通過し建造に決したる軍艦の命名左の如く發表されたり（東京特電）

（戰艦）陸奥（巡洋艦）久摩、多摩（驅逐艦）河風、峰風、澤風、楢、桑、椿、槇、欅、榎

朝鮮瓦電定時株主總會

朝鮮瓦斯電氣株式會社にては二十七日午前十一時より生命保險協會樓上にて定時株主總會を開き年七分の利益分配案を可決し次で監査役一名增員の件は議長指名にて西野森藏氏に決し尙前取締役本田口元學、佐藤潤象、大池忠助、小泉作太郎の四氏及び前監査役迫間房太郎、五島甚吉の諸氏に慰勞金品贈呈の件は株主中より委員三名を加入せしめたる取締役會に一任する事とし正午散會したり（東京特電）

早川少將著任

新任步兵第三十九旅團長早川睦軍少將は二十六日午後三時十二分平壤驛に著したるが道長官、松寺檢事長、灘警務部長其他文武官民各團體學生徒等多數の出迎あり步兵第四十九聯隊は停車場より道路の西側に堵列して出迎へたるが此の盛況を睹んとて校内附近及び沿道附近より日鮮人多數集り頗る殷賑を極めたり（平壤特電）

貨物倍賃取扱開始

停滯貨物整理法として內地鐵道院にては來る九月一日より貨物運賃倍額を徵收し貸切扱に限り貨車を特定貨物列車に連結し通常運賃の二倍を以て之が運送に應ずる由なり但し最低運賃は二十哩分の二倍とす前項の場合に於て航路と連絡するときは航路運賃も亦其の二倍とする右貨物取扱に對し左記取扱手續制定されたり

倍賃扱貨物取扱手續

第一條　本貨物の運送狀擬標題欄に倍賃扱と記入せしめ貨物通知書及び貨物引換證記事欄に連絡列車番號を記入すべし

第二條　本貨物に要する貨車は他の貨物に先立ち之を給供すべし

第三條　本貨物積載貨車は旅客列車又は別に定むる貨物列車に連結して運送するものとす但し之に依ること能はざるときは速達し得る他の列車に連結すべし

第四條　本貨物積載貨車票取扱方第三條第三號の車票を挿入すべし

第五條　本貨物に對しては特定運賃の適用を妨げざるも特約運賃は之を適用せざるものとす

第六條　發送前本貨物の運送を見合はしたるときは手數料として一噸に付五十錢を收受すべし

第七條　少數鮮又は生きたる魚及介晶類肉は貨物扱に限り倍賃を收受せずして本手續に準じ其取扱をなすべし

第八條　本貨物の運帶運輸をなす場合は既設左の運送又は航路と運帶輸送をなす場合に限り驛線は倍賃扱地線又は航路は普通の取扱方によるものとす

觀瀾亭雜俎　蘇峰生

○英國にても貴族、及び上流社會の墮落を痛嘆する識者、決して稀ならず。政權が勞働者に迄分配せられたる今日は、貴族のみを以て、一國の精華とは云ふ可らざるや論なし。されど騎りても鯛也。一旦緩急に際し、英國貴族が、國家の爲めに、其身を致す態度は、今猶ほ古の如きものなくんばあらず。威張るのみが、貴族の能にはあらざる也。十個の威張には、百個の盡瘁伴はざる可らず。

○我が所謂る皇室の藩屛と稱せらるゝ、華族社會は奈何。固より記者の知り得る限りに於ても、其閥に庶民の儀表たる、華族諸公も存在する也。流石に皇室の藩屛たりと思はるゝ人々も、十指を屈するに違あらざる也。されど其の一般的觀察を、無遠慮に語らしめば奈何。彼等は果して我が皇室の、彼等に期待し給ふ所を對揚して、更らに疚しき所なき乎。

○必らずしも華族のみならず、所謂る之に準ず可き、上流社會は奈何。吾人は彼等の中にも、若干の奇特者あるを知る。されど彼等は其の國家に對し、社會に對し、周圍に對し、義務本位なる乎、權利本位なる乎。將た權利義務本位なる乎。抑も亦た單簡明瞭に、我利本位なる乎。吾人は我が帝國の華族、及び上流社會が自から改善せんとを望むや切也。

記念植樹狀況

大正六年春本府及び各道並に營林廠に於て實行せる▲記念植樹本數はニセアカシヤ約五百五十八萬本アカマツ約三百九十六萬本クヌギ約三百十七萬本白楊類約三百十六萬本クリ約百七十二萬本其他約二百二萬本總計約二千百八十二萬本にして其參加人員無慮六十四萬人に達せり之を▲道別に比較すれば植付本數は忠淸南道の約三百五十六萬本最も多く平安北道、平安南道、咸鏡南道、慶尙北道、京畿道、黃海道、慶尙南道、全羅南道、黃海道、咸鏡北道、忠淸北道順次相亞ぎ全羅北道の約七十二萬本最少にして參加人員は平安北道の約八萬五千人最も多く京畿道、咸鏡南道、忠淸南道、平安南道、慶尙北道、慶尙南道、全羅北道、江原道、黃海道、全羅南道、咸鏡北道、忠淸北道順次相亞ぎ忠淸北道の約一萬七千人最少なり更に其植付本數を▲第一回に比すれば千七十七萬本を增加し約五倍に達し第六回に比すれば百卅五萬本を增加せり

鮮人勞働者移入手續に就て（一）
朝鮮總督府警務總監部　脇野義雄氏談

▲企業家の苦痛　近時內地產業界の勃興に伴ひ內地勞力の不足を補塡すべく多くの企業家は朝鮮人の勞働者を歡迎し非常の勢を以て移入されつゝあり而して企業家として鮮人勞働者を內地に移入する其都度警察官憲の許可を受くる手續を經る事の頗る之が爲め往々產業上の工程をして豫期に違はしめ延ひては商略上の機を逸する等甚だ苦痛とする有樣あり斯等の事柄に對し現今企業家側の云ふ所に依れば近く又た之れ同一帝國臣民たる朝鮮人が同じ領土內の甲地域より乙地域に其居住を移轉する事は全く自由にして一般原則と異なること無く亦た素より之に對して毫も制限を加ふべき何等法の根據なし從つて斯の如き行爲に對しては警務官憲に於ても何等干涉を加へ居らざるなり

▲鮮人保護の要　然れども唯だ朝鮮內に於て朝鮮人たる勞働者を募集する行爲に就ては主として比較的社會の事情に通ぜざる朝鮮人保護の立場によりて警務官憲の認可を受くる事となし或程度の取締を加へつゝあるは事實にして相當分の間は之に已むを得ざる事情あるなり認可を受くるの手續は至極簡易の方法を選み且つ可成的企業家の希望に副ふべく又も敏速に處理する爲めに終始警察官署を誡し且つ督勵されつゝあり之に關し內地官憲に對する照復の如きも多くは電報を以てしつゝある實

▲手續の概要は（一）認可官廳は募集區域一道なれば當該警務部長にして二道に跨る場合は警務總長に（二）願書には雇傭主の事業使用地從事せしむべき勞働の種類所要の人員及び其男女別募集區域及び其期間若し出願者以外の者をして募集に當らしむる場合には其募集從事者の本籍住所職業氏名年齡を具備するの外雇傭契約に關する事項を記載したる書面の添付を要す（三）契約書に記載すべき要項は勞働の種類及び雇傭期間就業時間及び休養の方法給金及び其支給方法勞務に關する獎勵及び貯金の方法收容設備及び賄料入浴寢具其他日常生活に要する費用負擔の方法往復及び傷病死亡等の場合歸還又は附添人に要する旅費負擔方法（未完）

有望な忠南の鰆

忠淸南道に於ける鰆流網漁業は外煙列島附近を漁場とし五月中旬より六月中旬に亙り從漁され居れるが竹島と煙島を根據地とし本年出漁船數は約三百隻に上り一隻に付百八十圓乃至七百五十六圓平均三百卅七圓の漁利あり漁獲物は林兼組及び山神組に依り鮮魚の儘內地へ輸送されたるが前年に比し漁船數は增加せしも漁獲高は全般を通じ約一割方の減獲なり元來同道の鰆は五月中旬頃來游するものなるが當時は恰も鯛及び石首魚の盛漁期にて漁場を一にするを以て鯛延繩及び同一本釣若くは鮟鱇網等の爲め流網の餘地殆んどなく漸次驅逐さるゝの感あり故に鰆流網漁業者は一歩を進め秋季に於て從漁せば春季の窮狀を補ふことを得べし秋季の際に於ける同道海上は荒廢して多くの漁船の蔓影を見ざるの有樣なるも鰆の大群は秋季外煙列島より佃道島に至る一帶の海面を游泳し居るを見るべく春季に比し魚體は稍小なるを以て網の改造等多少の手數は要するならんも進んで敢行せば相當の漁利あるや必せり故に前途有望なるものとして近時當業者間に囑目さるゝに至りたりと

張宴と外國領事

松川軍司令官は就任に際し有力官民を招待し披露宴を張ると同時に在京城外國領事團をも招宴の筈なりしも目下外交團中旅行者多きため特に領事團は九月中旬招待する事に定めたりと

黑板博士出發

滯京中の黑板文學博士は二十七日夜發列車にて東京に向け歸還したり

藥業組合總會

京城府內に於ける內鮮人賣藥營業取引業者の主なるものを以つて組織せる京城藥業組合は二十七日午後京城商業會議所樓上に於て臨時總會を開催し賣藥營業取引及び組合事務に關し諸種の打合せを爲したり

三郵便局の改稱

忠淸南道洪城郡洪陽面五官里の洪州郵便局は洪城郵便局と又全羅南道高興郡高興面玉下里興陽郵便局は高興郵便局に又慶尙北道榮州郡榮州面の榮川郵便局は榮州郵便局と九月十六日より改稱することとなりたり

廣東非常國會開院式

廣東非常國會は二十五日開院式を擧げたり但し六月十三日不法解散後の繼續議會なりと宣傳し孫文は非常時機に對する演說をなしたり二十六日引續き本會議を開き重大案件を議決すべし議員は百餘名なり（上海特電）

關稅剩餘金還附決議

北京外交團會議の結果關稅剩餘金二百萬兩を支那政府に還附するに決定せり（北京特電）

百聞百種

若松の白井新太郎君は常選無效の訴訟で失格と相成が極り▲埼玉の臑田辰五郎君は古川淸沖縄の我如古樂一郎の諸君は選擧違犯で有罪と決定▲此の上千葉の再選擧で上屋淸三郎君が落選でもしやうものなら▲維新會は冬の議會迄に五分減る譯だ悲觀せざるを得ぬとは御尤千萬▲外務省の小村侯へ何處からか電話がかゝつて來た▲ふう〳〵と侯爵頻に聞て居たがやがて▲さうか不憫だが仕方がない斯くなる上は唯一と討に殺してしまへ▲隣の書記官室では吃驚仰天一體何事だらう▲暑いのと公私繁忙とで若しや氣でも變になりはしまいかとコソ〳〵評定を開いた▲處がよく聞くと何でも小村侯の愛犬は色男で二頭も牝と馴染み▲爲に正夫人たる白女史の妬く事一方ならず▲每晩繼の下で盛んな痴話喧嘩▲侯爵夫妻は此の騷ぎに眠られず此の調子では神經衰弱になると大心配▲夫婦喧嘩などには至つて經驗のない侯爵が一夫人へ電話をかけて▲犬の御成敗の御沙汰と知れて一同オヤ〳〵▲持地遞信長官が南鮮地方巡察の途次一詩を得て古郵局長に示したものを御紹介せむ▲雅頌寄來情意濃、飲君綿々宮河衙、華才元不均體類、薄德何堪隴先隴、妹綱郵亭聰快馬、連珠短火照潜龍、笑優垂拱新官是、詩酒合宜獻献宗

庫倫たより

庫倫は外蒙の首府にして兼ねて商業の中心[illegible]

▲金融の本位は露國の留紙にして券面五百若くは一千留の大の紙幣を廢棄したりとの事にて▲商家は大恐慌を起しつゝ[illegible]　将なるも服家口に於ける物資の購買は之を以て各殼地より購入する豫定なるが如きも新[illegible]

▲中央觀象臺　庫倫觀象所[illegible]　底蘊あるを知らず庫倫にて特筆大書すべきは東盤子に觀於たる[illegible]　實政も亦蒙人の柴誼に歸し御候の通國の新聞及び通信機關に對して無[illegible]を嚴重に取締る事とし彼の如き[illegible]

カーバイド
並に各種ランプ及附屬品
田中カーバイド鮮滿總代理店
京城南米倉町十七番地
山陽商會
電話一二九二　振替京城三〇

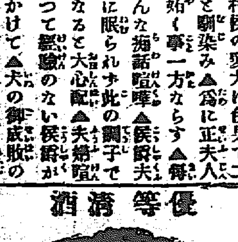
參謀總長上原勇作閣下題辭
陸軍大臣大島健一閣下題辭
陸軍一等主計山田久太郎著
近時の戰爭
新刊四六版並製　定價五十錢　郵稅金六錢
發賣

戰爭に關する唯一の虎の卷
開闢以來幾千年、世界の歷史は殆と戰爭を以て終始すと云ふも妨げず。國家の對立と人類の生存とに於て、戰爭は到底防遏す可からざると與に、亦た之を豫知すること到底不可能なり。大正三年以來歐洲大戰の如き、誰か此事あるを豫知せんや。此書は戰爭の本義、戰爭發生の原因、戰爭の種別、勝敗の原因等に就て、著者が專門的知識を傾注して明したるもの、一般國民に對して、戰爭の觀念を與ふるに於て餘りあるのみならず、特に戰爭の因由に就ては、著者が專門的に對照し言切語以て我が同胞の警醒を促して止まず。世界大動亂の今日、六千萬同胞の必ず一讀すべき要書也。
發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座一三一〇〇番　民友社
發賣所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

捕鳥用カスミ網
五間モノ金四圓
三間モノ金二圓四十錢
京城永樂町二丁目　電話三一四番　振替四三二八番
吉備商會製網部

鐵鋼
在庫豐富
京城南大門通三丁目
福田又京城支店
電話一二二二　振替京城二九二

內科
胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元　富安京城支店

開業
春野診療院（入院隨意）
內科外科
院長　春野信次
京城永樂町二丁目六十二番地（東拓總裁邸上隣）電話架設中

も亦淡からず市場は東會子より西營子に至る延長十五支里餘にして街道賣買餘地最も多く貿易繁盛なり

千萬留なるが最近露商は恰克圖より露國紙幣四大箱を輸送し來れり紙幣は何れも千九百十七年印刷の新紙幣り彼等は商家に對し舊紙幣を兌換せんことを求め居れるが某露商の言に據れば露國政府は已に千九百十七年り暴落して一錢五六分となり殊に烏里雅蘇臺等にては已に一錢四分に下落したるに拘はらず逐日下向き殆んど

く釜へて雲霄に入り人の耳目を掩かんずんば已まず同所員の談に從へば庫倫の政府は已に北京政府の有に非ず

對獨宣戰の結果憲省支那官憲は毎日午前午後二回郵電所に派員して信書及び電報の検閲を勵行せり又敵て商賈其等を一切禁止する事とせり又海外貿易に對しては支那は其初め中立國たりし爲め種々の制限を受け旨各省に通達したれば同省長は中央の意を受け工商各團體と會商して各軍需品及び工夫供給等に就き種

●熱誠なる滿場の喝采

盛會を極めたる本社主催黒板文學博士の通俗講演會

◇○拭掃除極めてよく行き届きたる講堂は定刻前千餘の聽衆を以て充滿されたり◇

本社が主催せる文學博士黒板勝美氏の講演會は廿七日午後三時日出小學校講堂に於て開會講演約一時間半に亘り午後四時三十分閉會、頗る盛會なりき。これより前熱心なる聽衆は

◆午後一時頃より參集

して開講を俟つものありたり講堂は暑中休暇中にも拘らず拭掃極めてよく行届き床上は其の儘、座すとも聊かの不潔を感ぜしめざる程なりき場内には閾産を敷き後半及び婦人席には椅子を設け日覆幕を張る等遺憾なき設備をなしたり定刻に及び場の内外は約千名の聽衆を以て充滿せられたり

聽衆中には僧侶及び婦人等も尠からず外國婦人も見ねたり午後三時十分阿部本社々長起つて

◆講演會開會の挨拶

を述べ黒板博士を紹介し次で博士は熱心なる滿場の喝采に迎へられ『弘法大師と國民の信仰』と題し先づ高野山に所藏する夥多の寶物が我國の歴史に至重の關係を有する事及び之等の國家的寶物が悉く弘法大師崇信の人々より大師に寄進したるものなる事、弘法大師の歴史上の地位及び宗教家として國民的信仰の中心なる事、

弘法大師を生みたる寧樂朝後半期の佛教及び其の國民思想に及ぼしたる影響より溯りて聖徳太子の佛教弘布の眞意及び國民固有の神祇崇敬と調和せしむる事に勗められたる史實を述べ此の旨趣を闡明して

◆神儒佛の三思想を

調和し始めて我國民固有の信仰と渾融せる佛教を創始し以て我國民をして皇室を中心とせる萬世一系の思想の根柢を確立せしめたるは實に弘法大師なりと述べ上下二千年の國史に精通したる博士が引證該博我國古今の思想の關聯を恰も掌を指す如く説き來り説き去り人をして倦む事を忘れしめたり千餘の聽衆

◇亦智識階級の人々のみなるを以て會場極めて靜粛に午後四時三十分博士は雷鳴の如き拍手喝采裡に降壇し茲に講演會の了りを告げたり

黒板文學博士と會場の聽衆
―日の出小學校に於ける本社主催の通俗講演會―

●木把一團鮮人筏夫を襲ふ

鮮人死傷六名

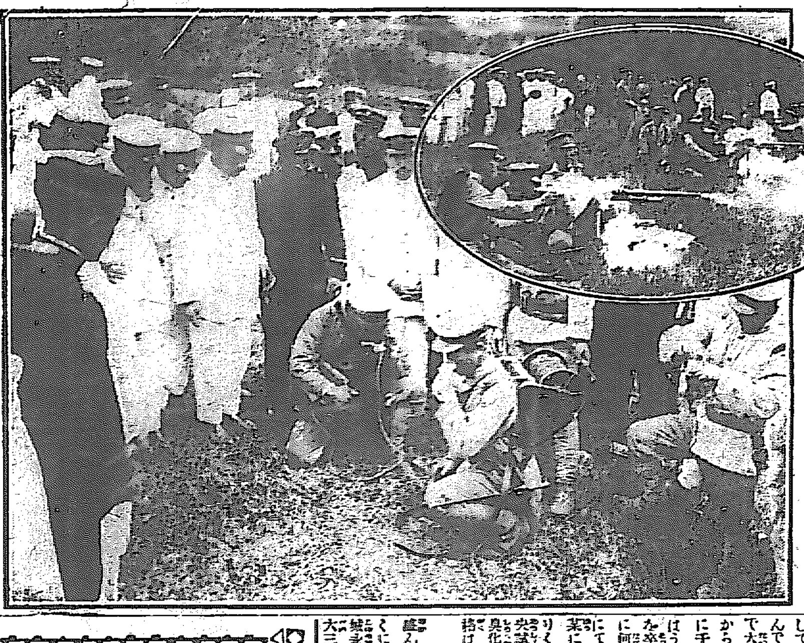
廿六日渾江口分局より採木公司に達したる電報に據れば二十四日三十餘名より成る木把の一團老虎庄に於て編筏作業中の鮮人筏夫を襲撃し鮮人即死一重傷二輕傷三名を出だしたるが木把は外察溝方面へ逃走せる形跡あり據て分局にては逮捕方に就き支那官憲と協力中なり（安東縣特電）

●南鮮荒し捕はる

慶尚南道金海郡石部面門洞里生れ朴允滿事朴有魚（二七）は前科數犯の曲者にて常に慶尚全羅兩道を股に懸け出沒自在に横行して窃盜を初め有ると有る惡事を働き近來釜山附近を徘徊し日鮮人の家を荒して被害高數十件に上りしが釜山署の刑事は晝夜同人の所在を物色中廿六日午前一時頃綠町遊廓明月樓附近に内地人の服裝にて現はれたる所に刑事二名より組付かれ劇しく抵抗せしも叶はず遂に繩を打たれしが其の以前に手足胸部に數箇所の生傷有るより見れば同夜も一仕事働きたるもの丶如く引續き取調中

●支那苦力到著

大阪にて職工不足のため支那苦力を傭ひ入るる事となり大阪製鐵所にて募集せる第二回目の五十名は廿七日到著せり（大阪特電）



◇軍用電話の架設と機關銃の射擊◇
―京畿道公立普通學校長等の龍山師團見學―

●お丶機關銃の威力!!

◇先生達の軍隊見學……若い士官の大氣燄……國難を覺悟せよ◇

歐洲戰亂の教訓により將來の國難には山川草木國土を擧げて戰はねばならぬとが解つたせいか近來一般の軍事思想が盛んになつたのは慶ぶべきとである、京畿道公立普通學校長四十三名の先生達も上田視學と共に龍山師團の見學を試みた、廿七日の午後から廿八日のとである、初日は午後の三時半から先づ砲兵の實地見學があつた、一中隊四門の三八式野砲は中隊長の馬上に閃めける軍刀の輝きと共に鐵蹄輕く砲車をつらねて先づ陣地侵入の光景を示す、放列を敷くと共に砲彈をとめるねらひを定める、見るからに壯快の限りであつた、今の

◆◆三八式野砲◆◆

は日露戰爭後改良せられたもので最初獨逸のクルップ會社から一萬圓で購入したが今は六千圓もかければ内地でみな出來る、日露戰爭以前は舊式の不便な野砲で戰爭したがそれでも捷つた、今の歐洲戰亂にはまだよい砲が出來た、標準を定める眼鏡の如きも日本のは一個三十圓位るだが歐洲のは三百圓もする、しかし苟も

◆◆黄色の襟章◆◆

が一人たりとも生き殘つてゐる以上毅然として最後まで戰ひます……と靑年士官は大氣燄をあげた『榴散彈!!』『榴彈!!』砲兵は頭腦が要るなど感服のさゝやきが洩れた、四時半からは歩兵隊電話線の架設、六人の兵士と一人の下士で單線の電話線を地面の上に架設して往くのである雨に

◆◆ピショ濡れ◆◆

たり雷鳴の夜など電話線を背うた兵士は全身がしびれるともあるとのと先生の一人がアカシヤ林からモシモシとやると向ふからもモシ〳〵！次ぎに射擊場に機關銃の見學。一臺に三人の兵士で擊方をはじめるとパン〳〵!!で一分六百發の銃丸が飛ぶ、標的の土手は雉射の

◆◆砂煙が濛々◆◆

と立ちのぼる、おゝ三八式機關銃の威力よ!!『旅順の山ではこいつでやられましたよ、雨のやうにそゝぐ此の銃は一臺で歩兵一箇中隊に當ります』とのと、歐洲では一聯隊に二百臺近く日本の三倍も有つてゐるとの話もあつた、それから一同七十八聯隊の營庭で中隊教練を見物、入浴の後は講話を聽いて軍隊飯を喰つて寢臺に寢て天晴れ軍隊生活の通になりすました、廿八日は朝から騎兵隊を見て退出する筈

●鳥羽丸無事紐育著

日本郵船紐育出張所より來電

二十六日日本郵船會社紐育出張所副參事亀井彦一氏より矢田總領事を經て日本郵船會社に宛たる電報に據れば、鳥羽丸は二十五日午前紐育に安著し乘組員全部無事なりと（東京特電）

●拾萬圓の石塊とは

一體何んなものか！

時を生だトッパース

去る十一日午後六時頃京城明治町三丁目菓子商長谷川千松方店頭に一人の朝鮮人來りて主人千松に面會を求め懷中より紙に包める雀卵大の石塊を取出し自分は田舍で石工をして居るものだが三年以前にある山で石を掘つてゐると突然石臺の裡から之が出た取上げて見ると冷たく氷のやうである

◆不思議な石だと珍藏してゐる内不圖この石を水に浸して其の水を飲んで見ると不思議に如何なる病氣も平癒するので大切に持つて居つたが近頃非常に困つて居るから買取りたいと思ふ買ふては下らぬか』との話に千松は眩分人を馬鹿にした話だと思つて追拂はうとすると同家の雇人にて總督府工業傳習所を卒業せし鮮人某が右の石を見るなり千松の耳に何やら囁きの結果十圓前金として渡し二十圓にて買取り千松は直ちに私立鑛石分析所の秋本某に鑑定を乞ひしに秋本は大に驚き五千圓にて讓りくれとのことに千松は仰天し今度は總督府中央試驗所の鑑定を乞ひしに技師は『ラヂウム』の變化物であらうと思ふ先づ十萬圓の價格はあらうと云つたとか

◆お伽噺の如き話が盛んに傳へられつゝあり右に關し今井資和を聞くに殆んど說明もなき程誇張され判明せり最も近頃京城永樂町二丁目七三小笠原長太郎なる者約三寸大三角形の石塊を手に入れ價格のあるらしきのなるより中央試驗所に至り鑑定を乞ひしに紅玉石なる事判明せり然も次郎は其價額を技師に問ひしに美術品製作所にて承合されたしとの事にて直ちに美術品製作所に至り評價を乞ひしも何等不明とのことにて今日まで其儘になり居れりと前記長谷川千松は此次郎の息女の話なれば多分邦人が種々の想像說を生み果ては十萬圓の玉の話を生むに至れるならん可しと

●溺死

京城清進洞荷馬車挽林漢甫長男千吉（六つ）は二十三日午後三時頃南大門通一丁目蓮橋下の深さ四尺位の水中に墜落して溺死せり

●京口貞子女史歸京　貴族幼稚園の京口貞子女史は文部省の講習に出席の爲め東上中の處廿六日午後九時南大門驛着列車にて歸京せり

うわさのうわさ

▲先日同姓同名の顔振つた處をお目に懸たが▲大連の某新聞職工に平壤府尹と同姓同名の本田常吉と云ふ男がある▲某官廳の雇員には例の殺人狂で天下を震駭させた男と同姓同名の入江三郎といふ年輩も顏形も恰度似合つた男が居る▲電話番號で面白いのは南大門小學校の六〇六▲三字名の人はよく朝鮮人の名と間違へられる▲京城府尹の金谷充氏なども朝鮮側の人は皆んなキンコクヂウで通つて居るし内地人でも知らぬ者は朝鮮貴族だとばかり思つて居る▲金谷巽を電信係がカナヤマ、ヤトだいふ女の名前にして終ふのも面白い

新小說豫告

櫻御殿

大阪　霞の家主人作

近々より朝刊第四面に掲載

素晴しい人氣で賣れて行く

白色美顏水の話

【問】近頃婦人方のお化粧が以前と違つて、大變に清新で、如何にも氣持よく美しいお化粧顔の方が多いのは、一體どういふ譯なので御座いませう。

【答】左様です。以前はお化粧といふと無暗に白ペンキの様になつたり、斑や、じぶ黒くなつたりしたものですが、近頃ではそんな舊式なお化粧をなさる方なぞはまあ餘り御座いませんからです。

【問】ではあんなに美しい氣持のよいお化粧をなさるのに何か新式の六かしいお化粧法でも出來ましたのですか。

【答】はい、いゝえ、新式には違ひ御座いませんが、少しも六かしいところでは無く、却つて今までよりずつと勞の無い、誠に手輕なお化粧の爲方なので御座います。

【問】それは不思議ではありませんか。あの舊式の不完全なお化粧でさへ、さあお化粧となると、些とやそっとの苦勞では御座いませんのに、此頃の、理想的とも申し度い、全でお化粧したとは見えない、生れつきの色が白いやうな白さと色澤のある、あの何とも言樣の無い美しいお化粧が、そんなに勞なく出來るもので御座いませうか。

【答】此頃大變な人氣になつて居る白色美顏水さへお用ひになれば宜しいのです。一度お試しになれば直ぐお解かりになりますが、全く不思議で御座います。

【問】成程然う仰在れば白色美顏水といふ名はよく聞きますが、併しそんなに重寶なものがどうして出來たのですか

【答】それが出來る譯が御座いますのです。數名の學者が化粧品に就て專門に研究して居られるあの桃谷研究試驗所で、長い間研究を積んで創製された新らしい化粧料ですもの、外國品にも負けない譯で御座います。從來の水白粉などとは作用の全で違つた、不思議な程の化粧料も出來ます苦で御座います。白色美顏水は普通の水と白粉とを混ぜた様なもので無く、桃谷研究試驗所で發見した、或新規の効用の優れた美容素を主薬にして出來て居りますため、從來お化粧が思ふ様に美しく出來なかつた様な方々でも生れつき色が白いやうな、高尚に美しいお化粧も出來ますし、それに少しも皮膚が荒れず、生地まで綺麗に美しくなりますのです。ですから一度お使ひになりますと、初めてお化粧の秘密が解つたといふ感じがして、續いてお使ひになるので御座います。

法人登記公告
平昌地方金融組合登記事項變更
業務區域ヲ江原道平昌郡ト變更ス
右大正六年八月貳拾四日登記
京城地方法院原州支廳

旅行附具　東京製　袋物　魔法瓶
京城本町二丁目　岩田鞄店

寫眞
寫眞出張撮影　寫眞銅版亞鉛版
京城日報社寫眞製版部

最新刊
▲通俗 世の中　三宅雪嶺　一.二〇
▲最新 支那陶器全書　大西林五郎　三.五〇
▲最近支那政號寫眞　北京通信社　.六〇
▲西洋算術詳解　稲川愛雲　一.〇〇
▲中川寛二郎 定石新法　定價一.〇〇
▲熟字 千字本義解　會田貢　.五〇
▲熱罵冷評　高島米峰　一.〇〇
▲朝鮮語方敬授革新　河野常九　.七〇
▲朝鮮語法及會話　一.三〇
▲最新文章辭典　大町桂月　.七〇
大阪屋號

質　大口歡迎
京城黄金町長橋附入　電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

百圓進呈
りん病　ばい毒
帝國醫科大學病院
にせ物あり
大阪有田
京城南大門外　大ドラッグ

御會葬御禮
大正六年八月二十七日
修竹堂　木村駒次郎
親族一同

東豆川より
三笑生

一筆啓上。小生は日曜を利用して京元線の秋色を探らんと廿五日夜京城出發、京元線東豆川に參り候。當地は楊州郡の奥の院とも申すべき處にて四方山に圍まれ一見盆間の如き地形を成し居り候得共、耕地も相當に開け、地味も亦可なりに沃く、水の豊富なることは、旱魃の際隣村悉く水の乏しきこともあるも、此處だけは涸渇等の憂なきのみならず、水質又至つて良好なる由に候。而して京城を去る僅かに十里汽車に據れば二時間餘にして京城に到著するを得る便利なる場所に候。

◇現今の東豆川は内地人の來住者極めて少なく、隆つてきた發展の域に達せざるもの丶如し。然し鮮人戸數は一見相當に繁榮を極め居り候、雜貨商、旅館等も三四軒有之、漣川、全谷、鐵原等に誇りし販路を擴張しつゝあり、朝鮮商業銀行長趙鎭泰氏の令姪趙慶元君の如きは純然たる内地雜貨を販賣致し居候。尤も繁昌せるは酒幕と稱する酒屋兼業の宿屋に有之、この酒幕は近村農民唯一の歡樂場と申すべく、彼等は五、十の兩日開設せらるゝ市日を卜して米飯と濁酒とに腹鼓を擊つを無上の樂とせる由に候。

◇東豆川の誇りは逍遙山なるべし。而して逍遙川の垂釣と東豆川栗林の栗拾ひも捨てたものにあらず。在留有志者等は、東豆川發展策として、この逍遙山を廣く世間に紹介し京城附近の名勝地たらしむべく、近く某貴族を總裁に戴く逍遙山保勝會組織の計畫も有之やに聞き及び候。而して之が第一著手としては、東豆川驛を北に距る五六丁鐵道線路に瀕れる一小丘數萬坪を公園として櫻、楓等を移植することゝ相成來春匆々著手の由に候。

◇逍遙山は、新羅の名僧元曉大師の修行の遺跡にて、京畿金剛として其景勝、夙に人口に膾炙し、殊に其二個の飛瀑は、夏期鮮婦人の來り打たるゝもの多く、京城其他の地方より飲食物等を携へて山遊するものも少からず、只だ未だ内地人間には廣く紹介せられざりしも、先年寺内總督の來臨ある筈にて當時兒玉伯爵は實地を檢分せられたることとも有之今後は遊覽者も漸次増加する見込なりと野口三水君は申候。

◇逍遙川は、東豆川の下より逍遙山下を北に臨津江に注ぐが故に付したる名稱なるべし、其水多くして清冽、而かも鰻、鯰、鯉、ハエ等を多く産するを以て京城地方釣漁家の好き垂釣場なるべしとは、松木東豆川郵便所長と河本憲兵派出所長の推賞に候。河本憲兵派出所長は所謂穴釣の名人にて夕景公務の餘暇を利用して一時間も水中に在れば大鰻三四尾は必ず漁獲するとの事に御座候。在京好漁家よ一番發しては如何。同地の有志は喜んで御案内することゝ存候。

◇東豆川の周圍一帶は、栗の密林也、就中東方一帶の谿谷に沿へる栗の林は、一抱へもあるかと思はるゝ栗の樹幾百株となく相連り、中秋の季を卜して栗拾ひを爲すこと尤も興あるべく、鐵道局、遞信局等よりは年々家族携帶の栗拾ひ行はれ居り、當地有志は一般の來遊を切に希望致し居り候。

◇小生は有志の勸めに依り逍遙を一見し午後三時三十五分東豆川發汽車にて歸京の途に就き申候、逍遙山は東豆川の生命とも可申、之を活用すると否とが、東豆川の消長に關すること多大なるべし。既に保勝會計畫の如きは尤も時機を得たるものと存ぜられ候。小生の希望としては、東豆川の北十六町、それより右折して逍遙山に掛らんとする逍遙洞を整理して茲に平壤の御牧の茶屋の如きもの一軒或は二軒を置き、逍遙山元曉臺の上元の寺跡に朝鮮建の旅館を營み、彼の清冽なる水を利用して浴場を設くることゝせば遊子に取りて多大の便利なるべし。尚ほ逍遙洞東豆川驛間に人力車を通ぜしむることも必要缺くべからざる一條件かと存候匆々不一

日報俳壇(下)

▲日誌の中より　平壤　野村鷗原

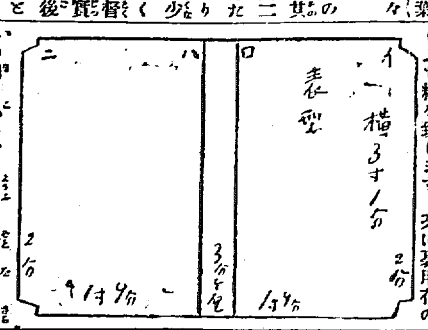
○湯浴みする母子に暮の星流る
○夕陽浴びて土手戻る子守等の唄
○月浴びて船洗ふ裸の男
○孕む帆が陽を浴びて船を江ぐ
○嵐の空の二羽の鳥離れ飛ぶ
○嵐の底に根を据ゑて煙突
○洪水見る人大勢な夕雨となり

■仁川から京城へ　仁川にて　坡柳生

○闇に嘶りて牛車曳くヨボの灯
○イキノ〜した百合の花よ花屋が曲る
○盆提灯直切り終る迄待つて居し用

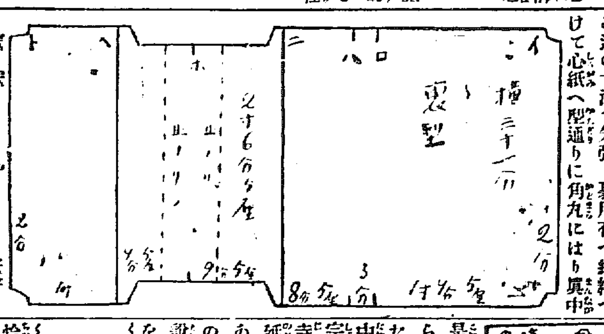
◇鏡附きの……紙白粉入

【用布】は羽二重でもリボン地でも更紗等何でもよろしく裏用布は無地であれば矢張り何でも持合せで結構です最初圖の如く紙で型を裁ち其廻りへ極く淺く糊をして表用布の裏へ一方へ布いせ(袋ごり)をする。【裏型】も其通りして眞中の線へ止め糊をつけましたら表裏共四隅の切込を殘して型通り布を裁ちます。そして切り口のほつれぬ樣に四方へ輕くふち糊を致します。次に裏用布の



への切り込みから用布を外に折り更にホの切り込みから用布を内に折るとへとニの切り込み線が合ひます、そしたら五番張子紙で表用裏用二枚の心紙を切る

【心紙】は横二寸九分丈はイの切り込みよりニの切り込みまでの長さをみて裁ち表用布へはり心紙へロとハの線を二本ひいておきます心紙の四隅は一分丸位ゐにして置き用布も心紙の邊りに程よく丸味をつけて張ります裏の張子紙は横二寸八分五厘にして丈はイの切り込みよりトの切り込み迄の寸法で矢張り裏用布へ糊つけて心紙へ型通りに角丸にはり眞中に



の線二本をかいて置きます。今度は裏用布のふちへ糊をつけ表用布へ眞中の二本の線を合せ四隅の角丸を合せてはり合せます。次に横一寸五分丈二寸五分のカガミに藥袋紙をカガミより一分五厘大に裁ち紙の四方へふち糊をつけカガミの裏からふちへくるむ樣にはりましたら裏へ磐石糊をつけ裏用布の段口のない方へはりつけますと二ツ折

【鏡附】紙白粉入れが出來上ります袋物にはすべてカネ尺を用ひます白粉は裏の段口に入れます

鷄頭。雁來紅
—五の日十の日會—

晝飯の出來る迄トロ〜と寢た蟬
同じ汽車を下りた人等詠で居る哉　事中
睡たくなる夏帽の煤煙を拂ひ
引返し京城まで
配達車出拂ひ強い照りの松葉牡丹

○借りた本積んだまゝ鷄頭燃ゆ晃　浮碧樓
○雁來紅ゴミ捨てに遠くへ行く也　田柿
○鷄頭近く兄弟登を荒らげ來　華紅
○葉鷄頭の領事館迄ちよいと往き
○小屋とりこぼつ鷄頭の紅さ
○見張て居り雁來紅に鳴くヒヨコ　鳥堂
○鷄頭影でチユーインガムを噛み
○畑の葉鷄頭にて住家を知れり

めしあげ牛ゑり　京城旭町一丁目　牛ゑり治商店　電話二五六二番

年期刺繍弟子十五名募集

□湖南吟社句集　柳散る

[illegible]

印章ゴム　版木彫刻　名刺印刷　京城本町一丁目　千代田號　電話九八七番

▲芝居の馬の脚を人間が勤めるから馬の脚が何うしても人間の足に見えてならぬ是は何とか工夫の出來ないものかしらん(演劇狂)▲此の間貴紙に出てゐた日蓮宗僧侶の辻説法は僕も見たが中々活氣があつて面白かつたが日蓮宗は何も彼の坊さんの云ふ樣に本能寺派に限つた事はない、正宗あり身延山派あり中山派あり京都本國寺派あり妙滿寺派ありで本能寺派が本當の日蓮宗で他派は日蓮宗でない樣に說てゐるが斯う云ふ風で自宗の別派を攻擊する拵とは沙汰の限りである

恰度本願寺が西と東に別れて互に攏鉢爭奪に憂身を窶してゐると等しく餘んまり量見が狹ま過ぎはしないだらうか(局外生)▲東京淺草の澤の鶴ホールは酒が九錢で肴が二錢五厘均一である曰く鯡、曰く牛てふ程の湯豆腐、曰く肉なしのシチウ、曰く何曰く何と安く上るもの許であるが京城でも一つ斯んなバーを初めたら面白いだらう但し均一の肴は五錢として貰ひたい(???)たら乾度引合ふよ(金儲博士)▲鼠の尻尾を錐の柄となし古井戸の水溜れしを梯子を入れて汲く所にしたら好いだらう(廢物利用生)

九十種の白粉中第一等の好成績を擧ぐ

「白粉らしい白粉」を始めて家庭に奬める事が出來るやうになりました

三府四十六縣 縣廳所在地の各新聞が公表せる白粉の試驗結果!

三百餘新聞の公評は期せずして本品が如何なる强烈なる日光にも變色せず白粉十ケ有毒のグレ無き天下唯一優良なる白粉なることを證明さるゝに至りました

試驗室の一部及び試驗に使用せし白粉瓶(これにレツテルを施し販賣す)

これまでに無い珍しい煉白粉

ホーカー白粉

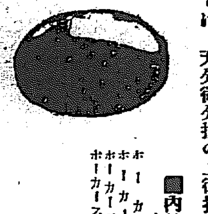
定價一瓶二十五錢(送料内地無料満鮮卅錢)

奥樣お孃樣へお奬めするに先立ち

▼御主人の御賛成を請ふ…………
奥樣お孃樣の美しきは、家庭圓滿の基でムいますが、皮膚の害が少しでも此の幸福を蚕ひつゝあつた從來の白粉を捨て、本品の御常用を願ひます。

▼女學校も或る程度までは…………
女學生の化粧は從來禁じて居る處が多うムいますが、皮膚衛生の上に最も好影響あるホーカー白粉は、或程度まで必要で將來の幸福ともなりませう。

▼醫學者の御推薦を希ふ…………
鉛分の多い白粉は、醫者としては並べなく排斥すると同時に、衛生本位のホーカー白粉の發見に對しては、充分御分析の上御推薦を得度ものです。



■内地販賣部本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店
ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー染髪液本舗 ホーカースキート
電話神田{長四三・四四・四五・四五六}
振替東京

▲書籍御案内▼

德富蘆花	外交奇譚	定價二五 郵税〇四
同	自然と人生	定價三〇 郵税〇四
同	青蘆集	定價三〇 郵税〇五
同	青山白雲	定價二〇 郵税〇四
同	探偵異聞	定價二〇 郵税〇五
德富猪一郎	世界の變局	定價二〇 郵税〇四

京城日報代理部(振替京城三〇〇番)

衛生 全乳
京城若草町 荒井牛乳 牧場部
電話京城一〇〇四 龍山七三一

荊妻友儀
永々病氣の處本月二十四日早朝龍山鐵道病院に於て死去仕候間生前の知己諸氏へ謹告仕候
追て葬式の儀は明二十八日午後五時本願寺出棺途中行列を廢し南山本願寺に於て式(?)相營申候
一切御辭退申候
八月廿七日

夫 恒川清一郎
親族總代 竹島寅治郎
同 池田長兵衛
友人總代 平岡光三郎
同 五味安太郎

金泉榮州間自動車發時刻
下り 一番車 二番車 ／ 上り 一番車 二番車

金泉發、玉山發、尙州發、咸昌發、醴泉發、榮州著 [時刻 illegible]

金泉自動車部 金泉支部
金泉電話四八番 ▲小荷物運搬仕候

大邱浦項間自動車時間
上り 大邱發、永川同、安康同、浦項著 ／ 下り 浦項發、安康同、永川同、大邱著 [時刻 illegible]

大塚農場自動車所 大邱出張部 電話一一七番

日本郵船仁川出帆
○大連行 太沽(天津)、牛莊行
相模丸 八月廿七日 正午出帆
高砂丸 九月七日 正午出帆
三河丸 九月十七日 後十二時出帆
仁川海岸町十一丁目 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 八月廿九日 後四時出帆
○大有丸 八月 日 後四時出帆
○秀吉丸 八月 日 後四時出帆
▲神代丸 月 日 後四時出帆
▲印大阪直行
仁川海岸通三丁目 高杉回漕部 電話五十九番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸 八月 日後五時出帆
○立神丸 八月 日後五時出帆
○元山、浦鹽行
○和歌浦丸 八月 日後十時出帆
○立神丸 八月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○外國航路(大連航路、南満航路)五分引き以て市場代會社の寄港地
◎神戸、大阪行 天智丸 八月卅一日 後二時出帆
△汕頭丸 九月十七日
×南汕、神戸、大阪行
◎汕頭丸 九月一日 後二時出帆
×木浦、釜山、嚴原、鄭の浦、長崎行
◎安東丸 九月五日 後二時出帆
×安東丸 九月廿三日
○横濱行
×汕頭丸 八月 日 後二時出帆
△福州丸 月 日
◎南浦行
×汕頭丸 九月十四日 後二時出帆
◎鎭南浦、大連行
×安東丸 八月卅一日 後二時出帆
×安東丸 九月十八日
◎西湖津、新浦、城津、清津行(元山出帆)
宮島丸 九月二十日 後十二時出帆
◎清津行(元山出帆)
宮島丸 九月一日 後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 八月 日 前五時出帆
基隆丸 九月十 日 後四時出帆

御注意 [illegible]

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二三番二二〇番
切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 電話二六番

阿波共同汽船仁川出帆
之罘、大連行
第廿六共同丸 八月廿九日 午後八時出帆
同 八月三十日 午後八時出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船仁出帆
本社(電話一九五・二三三番)
京城支店 朝鮮郵船京城支店 京城南大門驛前 松原運送店
○關門より釜山各地經由雄基行
但し×印あるは江原道寄港せず
京畿丸 九月二日
忠清丸 九月九日
咸鏡丸 八月廿九日
平壤丸 九月十四日 釜山發
○元山より各地經由雄基行
鏡城丸 九月廿八日
三浦丸 九月三日 元山發
○浦潮行(元山より城津清津經由)
平安丸 九月一日 元山發
○元山長箭間
慶寶丸 九月四日
三浦丸 九月一日
忠清丸 八月三十日 元山發
○釜山元山間
慶寶丸 八月卅一日 釜山發
九月四日 元山發
○欝陵島行浦項及各地經由
盈德丸 九月一日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸
襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 八月三十日 釜山發
○麗水行(各地經由)
河州丸 巨濟丸 統營丸 毎日 釜山發
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
公州丸 八月卅一日
東萊丸、慶興丸 八月 日 木浦發
○多島海各島行
慶興丸 九月二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 八月 日
麗水丸 九月三日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 九月一日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸 錦江丸 毎日 仁川發
但し三十一日は休航
○靑島行(芝罘、大連經由)
江原丸 八月卅一日 仁川發

在りし第二校舍落成と同時に他に移轉の必要あるべきを以て[illegible]

商況

大阪三品特電 [illegible]

大阪取引所特電 [illegible]

仁川期米 [illegible]

▲依然小相場 [illegible]